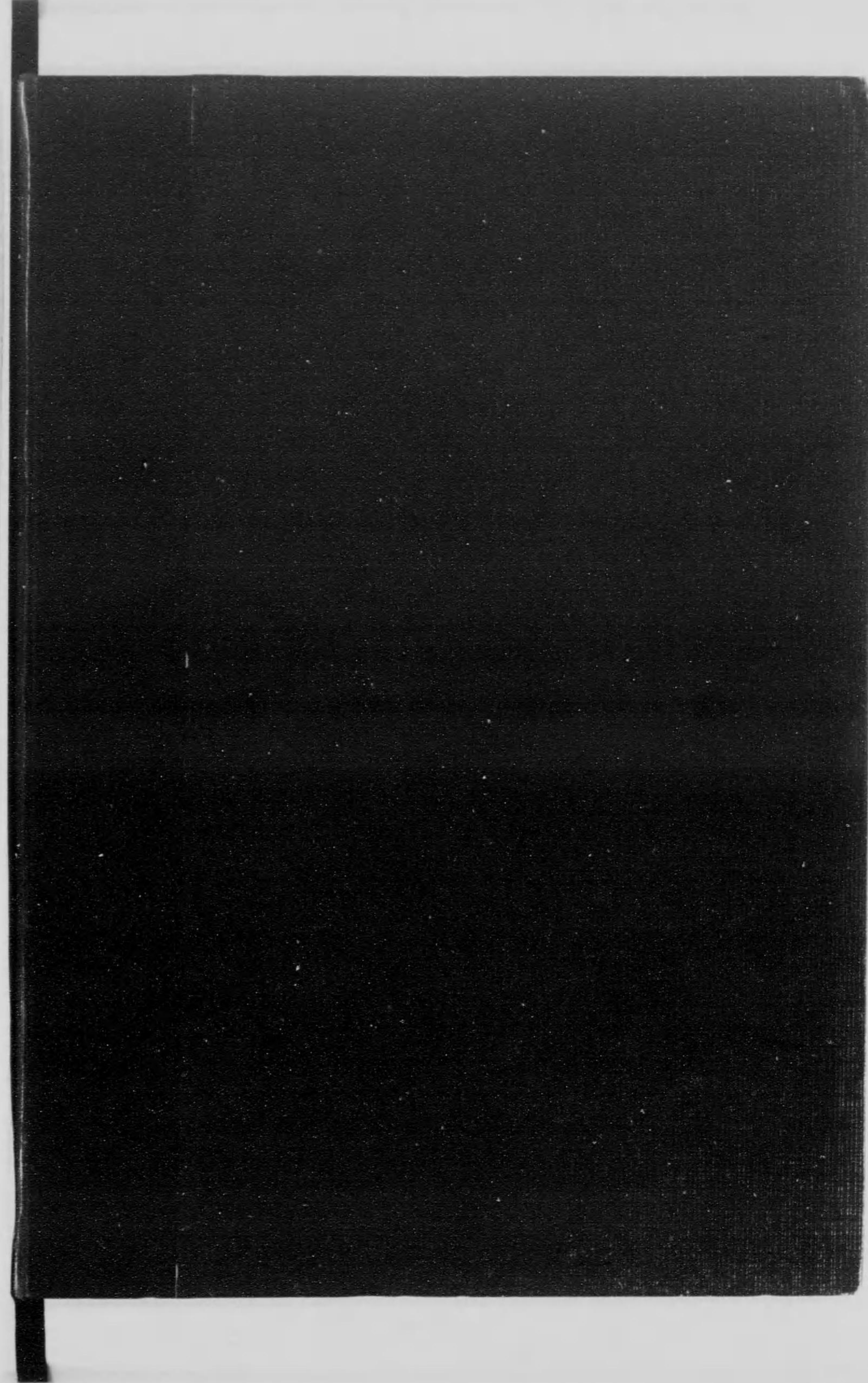




始



481.2

Y66

33/122

481.2
Y66

137



增補改訂

動物分類表

理學博士

谷津直秀
著

東京

丸善株式會社



第一版の序

明治四十年の秋職を大學に奉じてより余は普通動物學を講ずることとなり毎學年動物分類表を謄寫版に附し學生に分與し以て講義の補助となし同時に動物の類名及び代表者の學名特に屬名を正確に記憶せしむるに力めたり然るに毎年殆んど同様な表を印刷する爲に費す助手の勞力と時間とは實に莫大なり故に今回從來のものを増補訂正して一小冊子となし其煩を省くこととせり之れ本表出版の第一の目的なり。

本表は余の講義に出席せられざる同好の士の斯學入門の助と爲さんとの微意に出づるものなり之れ第二の目的なり。

他の學科に従事せらるゝ諸君にして動物の學名、俗名及び系統上の位置等を知らんとせらるゝ際の參考の資に供せん爲に本書は成れり之れ第三の目的なり。

最後に本書の第四の目的とするは普通動物學の學習を可成簡易にせんとするにあり嘗ては動物學は主として動物比較形態學、比較發生學及び分類學にてありし故其等の教習に隨分多數の時間を費したり然るに今や動物生理學、動物心理學、實驗發生學、遺傳學等の諸學科の長足の進歩をなし來りたれば普通動物學は此等諸學科の準備たるを目的とし可成短時間にて正確に大體の觀念を得るに甞めざるべからず本書は徒に詳細なる分類の記憶を目的とせず動物學の總括せる知識を得るの捷徑ともなさんとして編著せられたり。

動物學教科書の多くは系統の意味を高調せず試にヘルトキッヒの教科書を繙かれよ蠕形動物中に種々性質を異にしたる部類を抱括し次に棘皮動物來り其次に軟體動物來る恰も走馬燈の如く讀者の眼前に一門去つて他門現れ各類相互の發達關

係を發見するに苦まん又不注意なる讀者にはカモノハシの鳥類の次に記載しあり鳥類に似たる點あるより哺乳類は鳥類より單孔類を通りて進化せしならんとの感を抱くものさへあり。

動物學に志すものは其專攻學科の性質如何を問はず各類相互の關係に就き系統發生學上の明晰なる知識を有し動物進化の鳥瞰圖を正確に腦中に畫き置かざるべからず徒に動物構造、發生、習性、分類等の細點に囚はれ記憶に殘留するところ朦朧として斷片的なるは基礎學科としての普通動物學の本旨に違反するものなり本表の使命も亦此弊に陥るを妨ぐにあり、

本表は分類の配列順序に特別に注意せるを以て多數の動物學教科書に採用せる分類と幾分か差異あれども他の點に於ては大同小異なり加ふるに多くは目に止るを以て各部類の専門家の編出せる分類と比較すれば或は批難の點も少からざるべし然れども普通の動物學者としての分類には先づ本表程度のものを以て満足するを最も策を得たるものと信ず、Whatever worth doing is worth doing well (何事も爲すべきたとはよく爲さざるべからず) てふ諺はあれど其“よく”を正當に解釋せざれば大なる過に陥るものなり強ひて繁雜なるを好むが如き種、亞種、變種、先取權によりての學名變更の如き問題は須らく一生を捧げて動物記載學に盡瘁する篤志家に譲るべきなり。

大正三年五月二十三日

著 者

第二版の序

大正三年十月に本書の第一版の刊行以來今日に至るまで五年七ヶ月を経茲に増補改訂第二版を出版することとなれり。

第一版は形大なりし爲携帯に不便なりとの聲使用者の或るものに起りたる故第二版は小形となせり。

第一版を講義に使用せしこと六回に及び其間に本表に數多の誤謬あるを發見し大に慚愧の念に打たれたり、此等の誤りは皆第二版の原稿に訂正せり。

原生動物、棘皮動物、靈長類の三箇所は第二版に於て著るしく變更せり。

内容は成るべく節約したれども餘程膨脹を來せるは次の表によりて明なり

	第一版 (1914)	第二版 (1920)
類名	616	644
日本名	798	1111
英名	713	989
獨逸名	729	765
屬名	2026	2395
幼形名	55	72

第一版にある屬名等にて第二版に削除せしものもあれば上表の數字の差より實際の増加數は大なり。

第一版中の誤謬の點を摘示し懇篤なる注意をあたへられし諸君、又著者の質問に對し専門の知識を分與されたる諸君に深く感謝す。

飯島教授の著動物學提要發行以來同書を参照して増補改竄せる點多く同教授に負ふ所亦少からず。

終に此第二版の動物分類表により些かにても我邦の動物學研究者を裨益することを得ば大に満足の至なり。

大正九年六月五日

著 者

凡 例

(1) 本表は學習の目的を以て編纂したる故に記憶すべき事項は小部分を占め大部分は只必要の際参照すべき字書的のものなり、記憶すべきは系統樹、各部類の名及び屬名の小部分なり(屬名の前に~~⊗~~を附せるは重要なるものにて記憶すべき價值を有するものなり)。

(2) 各目の例として出せる屬は主として動物學上興味之點ありて重要なるもののみを擇びたり特に日本産動物の屬名を多く出せり、靈長類の分類の他に比して詳細を極めたるは余の講義の性質の然らしむるにて他に意味あるに非ず。

(3) 先取權よりして近時改名したるもの又は新屬名を附せられしものには多くは舊名を出し縦線の右に普通慣用されざる名を出せり異名の場合も亦然り之れ常識的の所置に出でしものにして嚴正なる分類學上よりは非難あるべし。

(4) 死滅せる屬には†を冠せり但し此記號を有せざる屬中にも化石として見出さるゝものあるは勿論なり。

(4) 動物の類名には日本譯を出せり之れ記憶すべき性質のものに非ず(外國語に據らずして普通動物學を修めんとする諸君の記憶せらるるは妨なし)又余の譯名の廣く採用せらるゝを望むものにもあらず寧ろ部類名の意味を直譯し學習の際類名を記憶するの一助ともなさんと思ひたるによる、屬名より來りし類名は強ひて譯せず例へば *Pareiasauria* をバレイアゾーラス類 *Zeuglodonta* をジューグロドン類としたるが如し。

(6) 動物の幼時に於て特別の名を有するものは之を立體文字を以て記入しイタリックの屬名と區別せり且つ(幼)を附記せり。

(7) 讀者の便を計り大正九年五月まで出版になりたる動物學雜誌、日本動物學彙報及び東京帝國大學理科學部大學記要中本表に關係あるものは次の略字を以て附記したり(鳥、魚、昆蟲、軟體類の論文の大部分は省けり是れ一般の動物學にはさほど關係なき故なり)。

雜 22. 152; 24. 16, 56...動物學雜誌第二二卷一五二頁、第二四卷一六頁、五六頁

雜 (歐).....動物學雜誌第七-九卷にある歐文論文彙 5. 240.....日本動物學彙報第五卷二四〇頁

紀 21. 8理科大學紀要第二一冊第八編

以上の外我邦出版物に参照せる場合には略字を用ひず外國の雜誌に表れたる論文は可成引照せざる様にしたれども必要なる場合には附記せり

- Z. A.Zoologischer Anzeiger.
- Z. w. Z.....Zeitschrift für wissenschaftliche Zoologie.
- J. Z.Jenaische Zeitschrift.
- Q. J.Quarterly Journal of Microscopical Science.

此他の参考雜誌は略字を用ひたるものあれど容易に其何たるを知るべし。

(8) oe, ae は可成結合せる活字を用ひずして二字とせり是れ一見容易に區別し得らるゝ爲めなり、例へば *Caenolestes* とせずして *Caenolestes* としたり。

(9) 日本名の外に英名とドイツ名を附記せり之れ参考書を読む際に便利ならんと思ひたればなり。

(10) 日本名には可成漢字を避けたり然れども音によれる動物名及び漢字なる爲めに意味をを知ること容易なるときは之を用ひたる場合あり例へば夜光蟲、銀貨、葛屋介、四不像の如し。

(11) 縦線の右方に學習上参考とならんとする事項を記入せり。

(12) 本表の偶數頁を白くせるは學習の際圖及び必要なる事項を記入する爲めなり。

動物分類の發達

動物を分類するは既に大古にも行はれたるなるべしと雖ども科學的なるものにて吾人の有する最初のもは紀元前四世紀に於けるアリストートル (*Ἀριστοτέλης*, ARISTOTLE, Aristoteles 紀元前 384-322) の分類なり彼は約 500 種の動物を記載し (普通の動物にて記載せざるものあり) 血 (赤血) の有無により二に大別し之を細別して八類とせり即ち

有血類	}	1. 胎生四足類 (クヂラを含む)	70	} 356 種
		2. 鳥類	150	
		3. 卵生四足類	20	
		4. 魚類	116	
無血類	}	5. 柔軟類 (タコ、イカ)	} 124 種	
		6. 軟甲類 (エビ、カニ)		
		7. 蟲類		
		8. 有殼類 (ウニ、マヒマヒ、二枚介等)		

プリー (CAIUS PLINIUS SECUNDUS, PLINY the Elder, Plinius, 紀元後 23-79) は軍艦にてベスーピオの噴火を見に行き灰の爲めに死したる博物學者なるが彼は動物を生棲の場所により陸生動物、水生動物、飛翔動物とせり之れアリストートルの分所に比すれば全く趣を異にしたるものにて科學的分類の眞の曙光は約十九世紀の後に英國人ウオットン (EDWARD WOTTON 1492-1555) なるロンドンの醫者にて與へられたり彼は *De Differentiis Animalium* なる Paris にて 1552 年に出版の十冊の書中にアリストートルの分類を採用せしがナマコ、ヒドデ、クラゲ、インギンチャク、カイメン等を含む Zoophyta なる部類を新に作り。

矢張英國人にしてレー (JOHN RAY 1627-1705) なる學者は蹄鐵屋の子にして神學を修め僧職に就きしが同時に博物學を熱心に研究し始めて種の觀念を確定し 1693 年の著 *Synopsis Methodica Animalium* は實にリンネの分類の基礎をなせり。

生物分類学の祖とも云ふべきはリンネ (CARL VON LINNÉ テレン名としては LINNAEUS 1707-78) なりスエーデン人にてウプサラ大學の教授たり以前は單に藥學の一部たりし動物學植物學を獨立の科學として始めて教へたり、自然の系統 (Systema Naturae) なる著の第一版は 1735 年第十二版は 1766-68 年に刊行せられ第十三版は死後に GMELIN の手によりて出版せられたり (1788 年) 此著に始めて綱、目、屬、種のカテゴリ法を採用せり、1751 年の Philosophia botanica にて二名法を立案せしが此十版即ち 1758 年の版にて始めて完全に二名法 (binomial nomenclature, binäre Nomenclatur) を發表したり實にダーキンとワレスの自然淘汰説を Linnean Society に提出したる年の百年前なり二名法とは生物の名を屬名と種名二字にて表はす法にて所謂學名 (scientific name) 之れなり以前は生物名は二字に非ずして時に隨分長きものありたり一例を示せばリンネの *Pleuronectes maximus* (カレヒの一種) を以前は *Rhombus maximus asper non squamosus* (ざらざらにて鱗なき大ガレヒ) と呼びし、を *Felis cauda in floccum deficiente* (尾の尖端に房を有するチコ), トラを *Felis flava maculis longis nigris, variegata* (長き黒斑を有する黄チコ) と云ひたり。

リンネのカテゴリはレーのより一層進み心臓、血液、呼吸法等を考に入れ動物界を六類とせり

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 哺乳類——胎生 | } 二心室二心耳温赤血 |
| 2. 鳥類——卵生 | |
| 3. 兩生類——肺有るもあり無きもあり | } 一心室一心耳冷赤血 ¹ |
| 4. 魚類——外鰓を有す | |
| 5. 昆蟲類——觸角あるもの | } 一心室心耳なし體液冷且つ白 |
| 6. 蠕蟲類——觸手あるもの | |

以上の兩生類は現今の爬蟲兩棲類の外サメ、フグの如き魚あり昆蟲類には昆蟲、クモ類の外甲殻類も編入しあり蠕蟲類には貝類も入る、第

1 リンネにして爬蟲類兩棲類の心耳を一なりとせしは驚くべし

十三版のものにはグメリン (JOHANN FRIEDRICH GMELIN 1748-1804) 滴蟲類を第七に加ふ (1788 年)。

ラマーク (LAMARCK 名を全體書けば JEAN-BAPTISTE-PIERRE-ANTOINE DE MONET, CHEVALIER DE LAMARCK 1744-1829) はリンネの第一より第四までを脊椎動物とし他を無脊椎動物としたり 1794 年に無脊椎動物を分つて次の如くせり

- | | |
|--------|---------------------|
| 1. 軟體類 | 4. 棘皮類 ¹ |
| 2. 昆蟲類 | 5. ポリプ類 |
| 3. 蠕蟲類 | |

1809 年の Philosophie Zoologique には之を變じて次の如くせり

- | | |
|---------|---------|
| 1. 滴蟲類 | 6. 蜘蛛類 |
| 2. ポリプ類 | 7. 甲殻類 |
| 3. 放射類 | 8. 環蟲類 |
| 4. 蠕蟲類 | 9. 蔓脚類 |
| 5. 昆蟲類 | 10. 軟體類 |

後に被囊類と有殻類を加へて十二類とせり、下等より高等に進むはラマークの始めて爲せしことなるに注意すべし、彼は 1802 年までは動物は梯子 (scala naturae) の如く配列せりと考へしが七年間に説を一變して樹狀に發達せるものなることを明言せるは實に 1809 年なり、これ系統樹 (genealogical tree, Stammbaum) の嚆矢なり。

キューヴィエー (GEORGES CUVIER 1769-1832) は 1812 年に Sur un rapprochement à établir entre les classes qui composent le règne animal (Ann. du musée d'hist. nat. 19) にて始めて動物を四大部門 (embranchements) に分てり後に 1822 年に ド、ブランヴィル (DE BLAINVILLE) 1778-1850) は De l'organisation des animaux なる著にて type なる語を此四大部門に用ひたり、1829 年にキューヴィエーは Le règne animal に次の如く動物を十五に分類せり

1 棘皮類 Echinodermata なる語は KLEIN が 1734 年の Naturalis dispositio echinodermatum に始めて用ひたり

脊椎動物	關節動物	軟體動物	放射動物
1. 哺乳類	1. 昆蟲類	1. 蔓脚體	1. 水母類
2. 鳥類	2. 蜘蛛類	2. 軟體類	2. 棘皮類
3. 爬蟲類	3. 甲殼類		3. 蠕蟲類
4. 魚類	4. 環蟲類		4. ポリプ類
			5. 滴蟲類

シーボルト (KARL THEODOR ERNST VON SIEBOLD 1804-85) は我邦に文政六年 (1823 年) 渡來せる PHILLIP FRANZ VON SIEBOLD (1796-1866) の従弟にして各所に教鞭を執りし最後にはミュンヘン大學の教授たり 1845 年に次の如き分類をなせり之れ現今吾人の採用せるものと殆んど同じなり、原生動物なる名を用ひたるに注意すべし

- | | |
|---------|---------|
| 1. 脊椎動物 | 5. 蠕形動物 |
| 2. 軟體動物 | 6. 植蟲類 |
| 3. 節足動物 | 7. 原生動物 |
| 4. 環形動物 | |

ロイカート (RUDOLPH LEUCKART, 1822-98) はライプツヒ大學の教授たりしが 1848 年の著 Über die Morphologie und Verwandtschaftsverhältnisse der wirbellosen Thiere—ein Beitrag zur Charakteristik und Classification der thierischen Formen にて始めて腔腸動物と棘皮動物を分離し近世のものと全く同じなる分類に達せり。

- | | |
|---------|---------|
| 1. 脊椎動物 | 5. 蠕形動物 |
| 2. 軟體動物 | 6. 棘皮動物 |
| 3. 節足動物 | 7. 腔腸動物 |
| 4. 環蟲動物 | 8. 原生動物 |

彼は原生動物を他の類とは全然別物とせり腔腸動物 (Coelenterata) なる名は 1847 年 FREY との共著なる Beiträge zur Kenntniss wirbelloser Thiere にて始めて用ひられたり。

ミルヌ、エドゥワール (HENRI MILNE EDWARDS 1800-85) は 1844 年に擬軟體類 (Molluscoidea) なる新類を設け腕足類、苔蟲類、ホヤ類を

總括せり、其中最後のホヤ類は 1866 年のコワレヴスキー (ALEXANDER KOWALEVSKY 1840-1901) の研究により脊椎動物と近縁あるを知るに至れり。

ヘッケル (ERNST HAECKEL 1834-1919) は 1877 年に原生動物に對し後生動物 (Metazoa) なる語を作らたり海綿を獨特の動物とし SOLLAS は 1884 年に Parazoa とせり又腔腸動物に對し他の後生動物をランケスター (LANKESTER) は 1877 年に有體腔類 (Coelomata) とせりチーグラ (ZIEGLER) は 1889 年に之を分つて原體腔類 (Protocoelium) と真正體腔類 (Deuteroceelium) としたり前者は分裂腔なる原體腔 (Protocoel = Blastocoel) を有し後者は中胚葉にて圍れたる真正體腔 (Deuteroceol = Coelom) を有するものなり。

以上は分類法の變遷發達の大概を示せるものなるが現今はリンネにより基礎を据れられたる五階の類名 (systematic categories, systematische Kategorien) 即ち綱、目、屬、種及び變種の他に門と科を加ふ此をなほ細別して亞の字を附し次の如くす：

日本語	ラテン語	英語	獨逸語
動物界	Regnum animale	Animal kingdom	Tierreich
		Grade ¹	
		Subgrade ¹	
亞界 = 門	Subregnum = Typus ² = Phylum ³	Subkingdom Type Phylum	Unterreich
	Cladus ⁴		
綱	Classis ⁵	Class	Klasse
亞綱	Subclassis	Subclass	Unterklasse
	Legio	Legion	

1 1877 年に RAY LANKESTER 始めて用ゆ
 2 1822 年に DE BLAINVILLE 始めて用ゆ
 3 1866 年に HAECKEL 始めて用ゆ 複数は phyla
 4 Cladus の複数は cladi
 5, 6, 8, 9 及び 10 は LIENNÉ の類名

目	Ordo ⁶	Order	Ordnung
亞目	Subordo	Suborder	Unterordnung
科	Familia ⁷	Family	Familie
亞科	Subfamilia	Subfamily	Unterfamilie
屬	Genus ⁸	Genus	Gattung
亞屬	Subgenus ⁸	Subgenus	Untergattung
種	Species ⁹	Species	Art
亞種	Subspecies	Subspecies	Unterart
變種	Varietas ¹⁰	Variety	Rasse
個體	Individuum	Individual	Varietät, Spielart
			Einzelwesen, Individuum

種は二名法により屬名と種名にて表すウグヒスは學名を *Horeites cantans* と云ふ *Horeites* は屬名にて *cantans* は種名なり、亞種或は變種には三名法 (trinomial nomenclature, ternäre Nomenklatur) を用ゆイヌは *Canis familiaris* なり日本イヌは其變種なれば *Canis familiaris japonicus* と云ふカハランは *Lutra lutra lutra* と云ふ之れ *Lutra lutra* なる種に或る數の亞種ありて其中の原形にまた *lutra* なる亞種名を附記せるなり。

動類の分類に關しては次の箇所を参照せらるべし

雜 2. 1; 20. 364; 21. 291, 342, 396; 23. 69; Tschulock, S.—Das System der Biologie in Forschung und Lehre 1910; 東洋學藝雜誌 36. 3 (450 號) 生物學の歴史研究。

7 1780 年に BATSCH (1761-1802) 始めて科を用ゆ

8 Genus の複数は genera

9 Species の複数は species

注 意

動物の學名に關しては萬國動物命名規約 (雜 23. 697) を参照せられんことを望む。

茲に注意として記すべきは屬名は必ず花文字にて書き始め種名は人名の外は皆小文字にて始む例へば *Felis leo* の如し。

人名より來れる種名は花文字にても或は小文字にても何れにてもよし即ち *Rhizostoma Cuvieri* にても *Rhizostoma cuvieri* にてもよし。

學名の後には其を命名せし人名を略字に附記するを常則とす *Canis lupus L* の如し *L* は LINNÉ の略字なり又 *Onchidium verruculatum Cuv* の *Cuv* は CUVIER の略なり。

屬名を變じたる場合には原命名者の略字を括弧に入る *Helix nemoralis L* を新屬の *Tachea* に變ずるときは *Tachea nemoralis (L)* となる屬の性の變ぜし場合には種名も變化す *Taenia lata L* を *Dibothriocephalus* 屬となすときは *Dibothriocephalus latum (L)* となる。

屬以上の動物の部分の名は必ず花文字を以て書き始む Chordata, Echinodermata, Protozoa, Cirripedia, Paludinidae, Tringinae の如し此を英語となせば小文字を用ゆるをよしとす a protozoan, the chordates, an echinoderm, a cirriped の如し。

dae に終るは科名にして nae に終るは亞科なり、例へば Limnæidae はモノアラガヒ科 Charadriinæ はチドリ亞科なるが如し。

種名の判然せざる場合には sp. を屬名に附す *Mysis sp.* の如し複數の場合には spp. とす。新種を發見し命名し之を始めて發表するときには n. sp. 或は nov. sp. と記し新屬なるときは n. g. 或は nov. gen. とす。

動物學上の論文を見出す方法に就ては雜 23. 653 を参照せらるべし。

動物の分類

門 (Phylum) 綱 (Class)

後生動物 METAZOA ¹	A	I 原生動物 PROTOZOA			
		II 海綿動物 PORIFERA			
		III 腔腸動物 CELENERATA			
		IV 扁形動物 PLATHELMINTHES	}		
		V 紐形動物 NEMERTINI			
		VI 輪形動物 TROCHELMINTHES			
		VII 内肛動物 ENDOPROCTA			
		VIII 環形動物 ANNELIDA			
		IX 軟體動物 MOLLUSCA			
		X 圓形動物 NEMATHELMINTHES			
		B	後生動物 METAZOA ¹	XI 節足動物 ARTHROPODA	甲殼類 CRUSTACEA 無角類 ACERATA 軟脚類 MALACOPODA 昆蟲類 INSECTA 馬陸類 DIPLOPODA
				XII 毛顎動物 ² CHAETOGNATHA	
				XIII 棘皮動物 ² ECHINODERMATA	
				XIV 前肛動物 ³ PROSOPIYGI	星蟲類 SIPUNCULOIDEA
					外肛類 ECTOPROCTA
					腕足類 BRACHIOPODA
帚蟲類 PHORONIDEA					
翼鰓類 PTEROBRANCHIA					
XV 原索動物 ² PROCHORDATA	擾索類 ADELOCHORDA				
	尾索類 UROCHORDA				
	頭索類 CEPHALOCHORDA				
	圓口類 CYCLOSTOMATA				
	魚類 PISCES				
XVI 脊椎動物 ² VERTEBRATA	兩棲類 AMPHIBIA				
	爬蟲類 REPTILIA				
	鳥類 AVES				
	哺乳類 MAMMALIA				

1 後生動物 (metazoa) は HAECKEL 始めて 1877 年に Studien zur Gastreatheorie p. 12 に用ゆ
 2 真正口類 Deuterostomia 原口 (blastopore, Urmund) の外に口の生するもの
 3 原口類 Protostomia 原口の口となるもの

原體腔類 PROTOCELIER

無脊椎動物 INVERTEBRATA

真正體腔類 DEUTEROCCELIER

脊索動物 CHORDATA

魚形類 ICHTHYOPSIDA = 無羊膜類 ANAMNIA

蜥形類 SAUROPSIDA } 有羊膜類 AMNIOTA

現生動物の種數

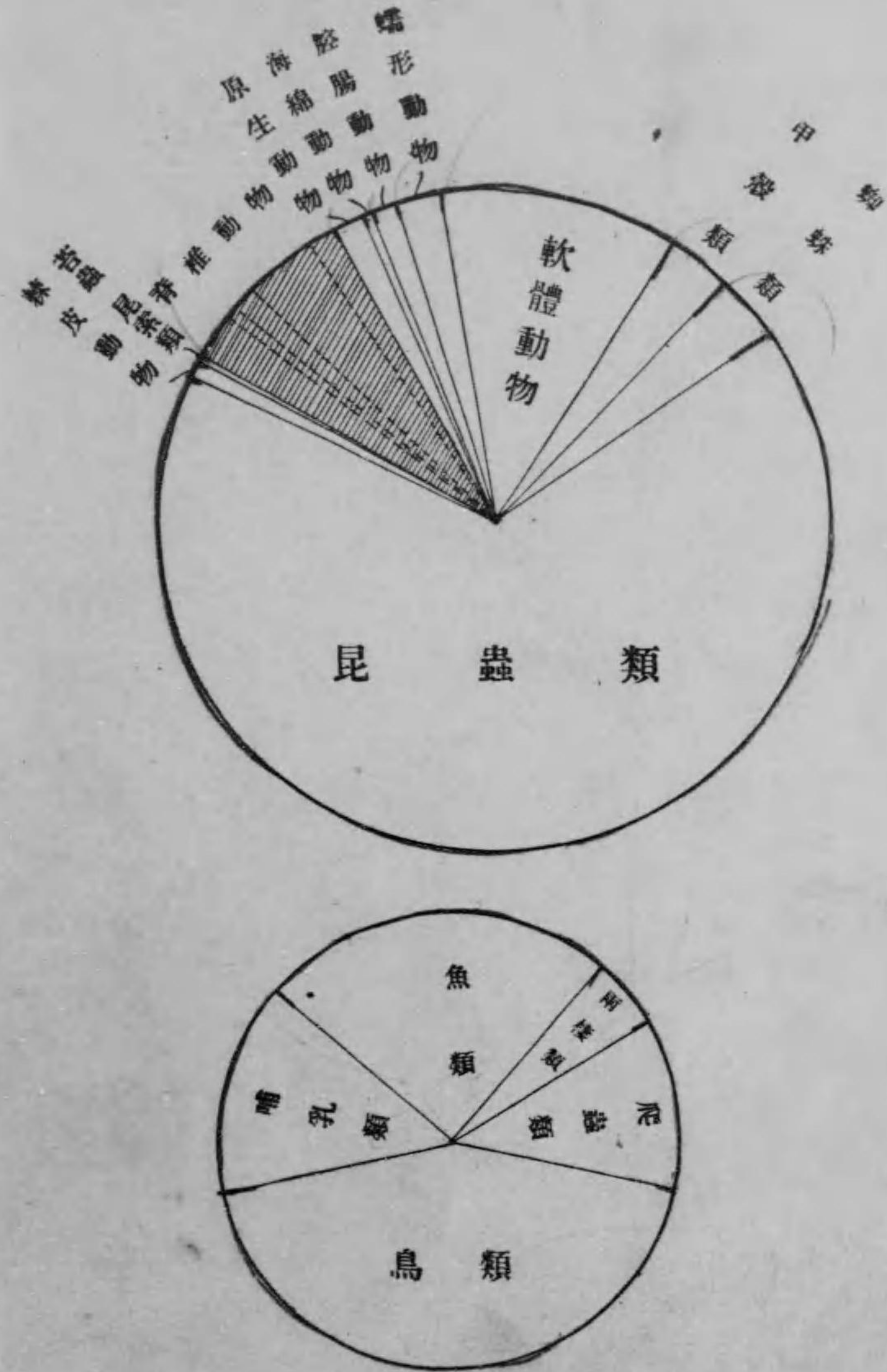
LINNÉ は 1758 年に Systema Naturae の第十版に當時知られたる凡ての動物を記載し 4,236 種とせり爾來約一世紀半の今日概算にて現生の動物の種類は 535,200 なりと云ふ即ち

原生動物.....	8,000	
海綿動物.....	2,500	
腔腸動物.....	4,500	
扁形動物.....	5,000	
輪形動物.....	500	
環形動物.....	4,000	
軟體動物.....	61,000	
圓形動物.....	1,500	
甲殼類.....	16,000	
無角類.....	16,000	
昆蟲類.....	360,000	
多足類.....	2,000	
棘皮動物.....	4,000	
前肛動物.....	1,600	
原索動物.....	1,300	
	<u>488,000</u>	
魚類.....	12,000	2,500 ¹
兩棲類.....	2,500	50
爬蟲類.....	6,000	103
鳥類.....	20,000	618
哺乳類.....	7,000	197
	<u>47,200</u>	<u>3,468</u>
	<u>535,200</u>	

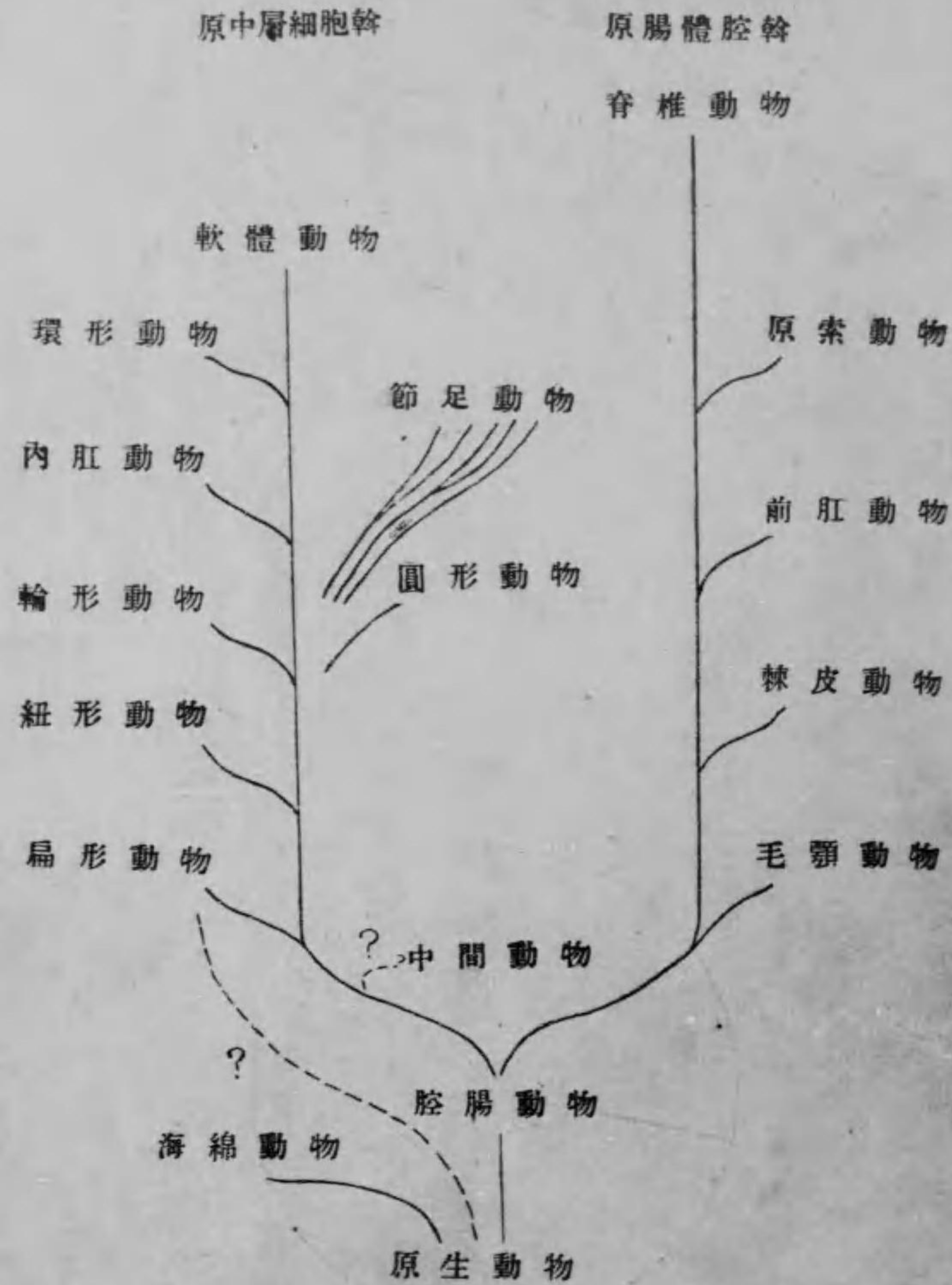
上表の無脊椎動物は PRATT (Science N.S. Vol. 35, No. 899) に據り脊椎動物は HENSHOW (Science N.S. 36, No. 923) による (雜 8. 135; 9. 71; 22. 389)。

此を右圖の如く表はせば各部類の比例の大體の觀念を得るに便利ならん。

1 朝鮮を含む



動物の系統樹

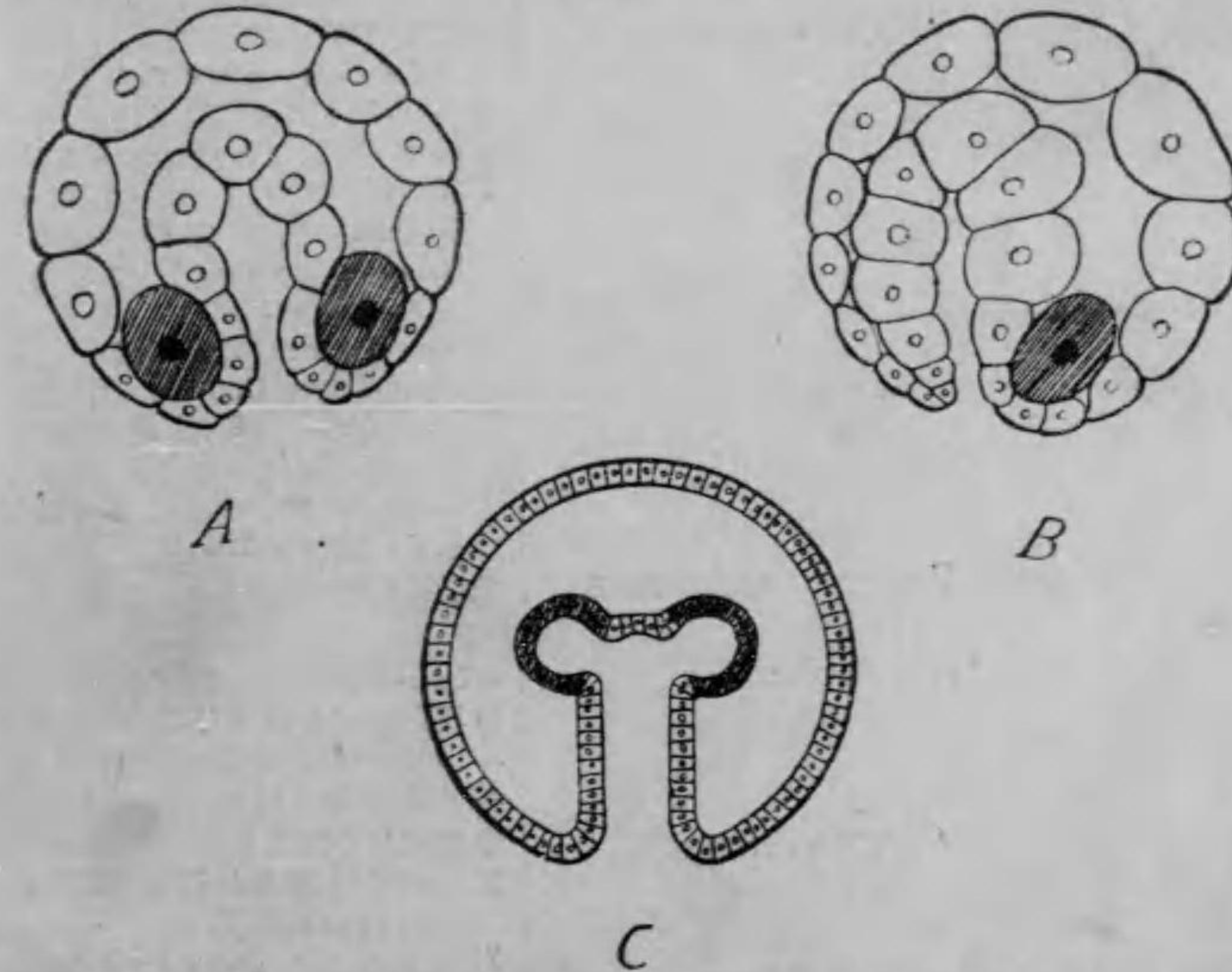


無脊椎動物の系統發達 (phylogeny, Stammegeſchichte) は古生物學 (paleontology) より學ぶこと能はず如何となれば化石を含有する最古の層に於て既に動物は數個の門に分化したればなり。

故に各門相互の關係は比較解剖學と比較發生學即ち現世生物學 (neontology) より推定するより外に方法なし。

現世生物學の研究より動物の系統發達は左圖の如きを知る、即ち原動物より一方に海綿動物を出し他方に腔腸動物を生じたり、或る扁形動物は原生動物より直接に發達せしやも知れず、中間動物は寄生生活の結果として扁形動物等種々の原的なるもの、退化したるなるべし。

腔腸動物より動物は二大幹として發達せり、一は原中層細胞幹 (teloblast stem) なり、即ち發生の初期に於て細胞の數少く二個の原中層細胞 (teloblasts, Urmesofodermzellen) ありて之より中層 (mesoderm) を生ず、他方に發達したるは原腸體腔幹 (enterocoel stem) にて中層は原腸よりの囊 (archenteric pouches, Urdarmlaschen) として生じ發生の初期に細胞の數多し (理學界 16.1 参照)。



AB.—原中層細胞幹に屬する動物の胚囊 (gastrula) の縱斷想像圖、A は腹面か背面より見たるもの (frontal section); B は側面より見たるもの (parasagittal section); 原中層細胞は斜線を有す。

C.—原腸體腔幹に屬する動物の胚囊の縱斷想像圖、原腸囊は斜線を有す。

第一門 原生動物 (PROTOZOA)

- 第一綱 鞭毛類 (MASTIGOPHORA)
- 第二綱 偽足類 (SARCODINA)
- 第三綱 孢子蟲類 (SPOROZOA)
- 第四綱 滴蟲類 (INFUSORIA)

第一綱 鞭毛類 MASTIGOPHORA

第一亞綱 真正鞭毛類 Zoomastigophora

第一目 モナス類 Monadida

- **Mastigamoeba*
- Dimorpha*
- Actinomonas*
- Cercomonas*
- Monas*

**Trypanosoma*

Trypanoplasma

**Spirochaeta*

Treponema

第二目 異鞭毛類 Heteromastigida

Bodo

Urtiere

GOLDFUSS 1820 年に始めて用ゆ、1841年に SIEBOLD 現今と同じ意味に用ひたり、之を四綱に分ちしは FELIX DUJARDIN(1841年)なり

Geißelinfusorien od.

Geißelträger

雑 27. 147

T. rotatorium カヘルの血に住む
T. lewini ネズミの血に住む、ネズミのシラミにより傳播せらる
T. brucei アフリカの有蹄類の Nagana 熱病原體 tsetse fly (*Glossina moritans* 等)より傳播せらる—雑 25. 185
T. evansi Surra の病原體
T. equiperdum Dourine の病原體
T. gambiense 睡眠病 (sleeping disease, Schlafkrankheit) tsetse fly (*Glossina palpalis*) により傳播せらる—雑 18. 268

魚血に寄生す

= *Spirochaeta*

波状膜を有し鞭毛なし
S. balbiani カキの水晶體に見らる
S. anodontae

波状膜なく鞭毛あり

T. pallidum 梅毒病原體 1905年に SCHAUDINN 發見

T. recurrentis (*obermeieri*) 回歸熱 (relapsing fever, Rückfallfieber) 病原體

第三目 多鞭毛類 Polymastigida

Multicilia

**Tetramitus*

**Trichomonas*

Lambliia

Hexamitus

Trichonympha

Joenia

第四目 ユーグレナ類 Euglenida

**Euglena*

Phacus

第五目 珪質鞭毛類 Silicoflagellida

Distrephanus

第六目 襟鞭毛類 Choanoflagellida

**Monosiga*

Salpingoeca

Codonosiga

Diplosiga

Codonocladium

**Proterospongia*

第二亞綱 植物鞭毛類 Phytomastigophora

第一目 植物鞭毛類 Phytoflagellata

Dinobryon

**Synura*

Uroglena

Chilomonas

Haematococcus

分布せる核を有す

T. hominis (intestinalis)

T. vaginalis

L. intestinalis = Megastoma entericum

ネズミ, イヌ, ネコ, ヒトに寄生す八鞭毛あり

} シロアリに寄生す一鞭 29. 47

P. haeckeli 1880 年の七月に Kew Garden にて発見 METSCHNIKOFF の Parenchymella 或は Phagocytella 説を扶けしもの (1879, 1886 年) 一鞭 15. 227 (American Naturalist 21, 1881 p. 334, p. 419), FRANCE-Organismen der Craspedomonaden Budapest 1897 p. 217.

LANKESTER の Planula 説を立つるもの 1867 年一鞭 15. 227

紅雪の原因

**Gonium*

Eudorina

Pandorina

**Pleodorina*

Platydorina

**Volvox*

Catallacta 變形類

Magosphaera

第二目 渦鞭毛類 Dinoflagellata

Prorocentrum

**Peridinium*

**Ceratium*

Gonyaulax

Glenodinium

Gymnodinium

Ceratocorys

Erythroopsis

Polykrikos

第三亞綱 胞狀鞭毛類 Cystoflagellata

**Noctiluca*

**Leptodiscus*

Craspedotella

? *Radiozoum*

第二綱 偽足類 SARCODINA

第一亞綱 根足類 Rhizopoda

第一目 アミーバ類 Amoebida

**Amoeba*

Paramoeba

**Entamoeba*

BÜTSCHLI の Plakula 説を立つるもの 1883 年一雜 15. 227

生殖栄養の兩種の細胞あり

P. californica (Bot. Gazette 19.)

P. illinoisensis (Bull. Illinois Lab. 5.)

HAECKEL 之により Blastaea 説を立つ 1872 年一雜(歐) 8. 25, 15. 227

寛球の義 J. Z. 6; 雜 1. 212

葉 6. 125; 雜 19. 83; 漁業基本調査準備報告 56

葉 5. 121

葉 4. 31

紀 32 2

大眼を有す

八横溝四大核あり刺胞を有す

N. militaris ヤクソウチユウ(夜光虫) 雜 2. 325, 374; 10. 273, 352, 365

L. medusoides. J. Z. 11

C. pileolus. Bull. Mus. Comp. Zool. 46. 9

R. lobatum Ricerche Lab. Anat. Roma. 10

Wurzelfüßler

雜 21. 199; 葉 8. 531

アミーバ

E. coli

Trichosphaerium

Pelomyxa

**Arcella*

Quadrula

**Diffugia*

Euglypha

Proteomyxa

Nuclearia

Plasmodiophora

Gymnophrys

Vampyrella

Mycetozoa 菌蟲類

=Myxomycetes 粘液菌類

Fuligo

Stemonites

MONERA

Protomyxa

[**Bathybius*]

第二目 有孔類 Foraminifera

=有室類 Thalamophora

第一亞目 單室類 Monothalamia

Gromia

Astrorhiza

Ammodiscus

Psammonyx

Halyphysema

E. histolytica

赤痢アメーバ 雜 21.
99, 243

P. brassicae カブに "fingers and toes" "handbries" Sernienkrautheit を起す

Bilztiere od. Schleimpilze

(Slime moulds)

=*Aethalium*

ピロードダケ

HAECKEL 1868 年命名

J. Z. 4

J. Z. 5; 1857 年に発見後 1868 年にもとらる生物に非らず硫酸石灰のアルコールにて洗滌せるもの

ボローニアにてプライオシオン期のもの 1711 年に発見 現世のものは JANUS PLANCUS が Rimini の海岸に 1730 年に発見、以後頭足類と思はれ 1826 年に D'ORBIGNY 有殻頭足類の一部として Siphonifera に對して Foraminifera と命名、1835 年に DUJARDIN が根足類に屬するを發見す

P. vulcanicus 直徑二寸 (現世の有孔類中最大なるもの) 相模洋 100-200 尋 Verh. Deutsch. Zool. Gesell. 2.

HAECKEL 海綿と思ひ Physemaria 類に入る

第二亞目 多室類 Polythalamia

**Polystomella*

*†*Nummulites*

*†*Fusulina*

†*Schwagerina*

Rotalia

Polytrema

Calcarina

Discorbina

Orbulina

**Globigerina*

Lagena

Nodosaria

Textularia

Bulimina

Orbiculina

Miliola

Calcituba

Orbitolites

XENOPHYOPHORA

Stannophyllum

Psammina

[*Eozoon*]

第二亞綱 太陽蟲類 Heliozoa

**Actinophrys*

**Actinosphaerium*

Philos. Transaction (B) 186 (生活史)

クワヘイセキ(貨幣石)
N. javanus 小笠原(母島)イオシオン期
Descript. géol. de Java et Madoura t. 2 直徑二寸

N. gizehensis ピラミツドの石材イオシオン期

石炭紀、此化石を有する石灰岩をサメイシ(鯨石)と云ふ一紀 21. 5

石炭紀、此化石を有する石灰岩をゾハン(豆斑)と云ふ

P. miniacum—雜 25. 215 DUJAR DIN 既に多室類と鑑定セリ

F. E. SCHULZE 1905 に命名

E. canadense 1865 年に LOGAN 發見す生物に非ず Ophiocalcite (大理石と蛇紋石の混合物)なり

Sonnettierchen

1869 年に GRENACHEE 始めて之れにて centriole を見る

Raphidiophys
Acanthocystis
Clathrulina
Gymnospaera
Wagnerella

Sticholonche

第三亞綱 放射蟲類 Radiolaria

第一目 多孔類 Perypylaria
 = Spumellaria 泡狀類
 * *Thalassicola*
 * *Collozoum*
Sphaerozoum
Actinomma
Heliosphaera

第二目 線孔類 Actipylaria
 = Acantharia 棘針類
 * *Acanthometron*

第三目 單孔類 Monopylaria
 = Nassellaria 小竅類
Eucyrtidium
Lithocircus

第四目 三孔類 Tripylaria
 = Phaeodaria 褐色類
 = Cannopylea 管孔類
Aulacantha
Aulosphaera
Coelodendrum

第三綱 孢子蟲類 SPOROZOA

第一亞綱 晚生孢子類 Telosporidia

第一目 簇蟲類 Gregarinida

* *Monocystis*

G. albida 海産 J. Z. 28
W. borealis White Sea に産す柄あり

S. zanclea spiral body と云ふは
Amoebophrya なり

GEDDES は 1881 に之を animal
 lichens と云へり. *Zooxanthella* は
Cryptomonadina 類の植物鞭毛類
 なり

Wissensch. Meeresuntersuchungen
 NF. 10

之に *Amoebophrya* の寄生すること
 あり

200-1000 m. の深海に産し
 phaeodium なる色素塊あり

1845 年に KÖLLIKER 始めて單細胞
 動物たるを知る 1879 年 LEUCK
 ART 命名

雜 21. 361, 434, 508; 22. 1, 205,
 382, 437; 36. 228; 309, 398; 彙
 7. 279; 8. 435

	<i>Aggregata</i>	
	<i>Porospora</i>	<i>P. gigantea</i> ロブスターの腸に寄生す 16 mm.
	<i>Gregarina</i>	
	<i>Stylorhynchus</i>	
	<i>Ophryocystis</i>	甲蟲のマルヒギ管に寄生す
第二目 球蟲類	Cocciida	雜 25. 87
	* <i>Eimeria</i>	<i>E. stiedæ</i> = <i>Coccidium</i>
		<i>cuniculi</i> = <i>C. oviforme</i>
		マヒマヒの腎臓に寄生
	<i>Klossia</i>	
	<i>Adelea</i>	
第三目 血蟲類	Haemosporida	ハマダラカにて傳播せらる
	* <i>Plasmodium</i>	<i>P. vivax</i> 三日熱隔日熱 (tertian fever) 病原體
		<i>P. malariae</i> 四日熱 (quartan fever) 病原體
		<i>L. malariae</i> = <i>P. immaculatum</i> 悪性熱 (pernicious fever) 病原體
		<i>B. bigemina</i> = <i>Piroplasma bigeminum</i> Texas fever 病原體一雜 17. 154; 23. 481
		<i>B. bovis</i> 牛の血尿病原體
		<i>P. praecox</i>
		雜 15. 131
	<i>Laverania</i>	
	<i>Babesia</i>	
	<i>Proteosoma</i>	
	<i>Halteridium</i>	
第二亞綱 早生孢子類	Neosporidia	
第一目 粘液孢子蟲類	Myxosporidia	
	* <i>Myxobolus</i>	雜 20. 517
	<i>Myxidium</i>	
	<i>Sphaeromyxa</i>	葉 8. 257
	<i>Chloromyxidium</i>	= <i>Glugea N. bombycis</i> 微粒子病 (pé-brine) 病原體蠶業試験場報告 2
	* <i>Nosema</i>	
	<i>Rhinosporidium</i>	<i>R. hominis</i>
第二目 住肉孢子蟲類	Sarcosporidia	
	* <i>Sarcocystis</i>	<i>S. mieschriana</i> RAINEY-MIESCHER's body. Sarcocystin は原生動物より得たる唯一の毒素なり
	SERUMSPORIDIA	
	<i>Serumsporidium</i>	

第四綱 滴蟲類 INFUSORIA
=CILIOPHORA 擔纖毛類

第一亞綱 纖毛蟲類 Ciliata

第一目 全毛類 Holotrichida

- Urotricha*
- Trachelocerca*
- Prorodon*
- Actinobolus*
- Didinium*
- Dileptus*
- Coleps*
- Lacrymaria*
- Colpoda*
- Bütschliella*
- Urocentrum*
- **Paramaecium*
- Ichthyophthirius*
- Pleuronema*
- **Opalina*
- Metaphrya*

第二目 異毛類 Heterotrichida

- Nyctotherus*
- Spirostomum*
- Bursaria*
- Balantidium*
- **Stentor*
- Folliculina*

第三目 貧毛類 Oligotrichida

- Halteria*
- **Tintinnus*
- Tintinnidium*
- Tintinnopsis*
- Entodinium*
- Ophryoscolex*
- Cycloposthium*

Wimperinfusorien 雜 17. 185

雜 20. 71
分布核を有す

B. opheliae 分裂の際に小核生す

ザウリムシ
魚皮に寄生す 雜 16. 439

O. ranarum 蛙腸に寄生す
葉 9. 317

B. truncatella 2 mm.

B. cili
ラツバムシ
(bottle-animalcule)

雜 19. 83; 葉 6. 136

}反芻類の胃に寄生す
馬の盲腸に寄生す

第四目 下毛類 Hypotrichida

- **Oxytricha*
- Styttonychia*
- Euplotes*
- Aspidisca*

第五目 縁毛類 Peritrichida

- Spirochoma*
- Lichnophora*
- Boveria*
- Trichodina*

**Vorticella*

- Carchesium*
- Cothurnia*
- **Zoothamnium*
- Epistylis*

第二亞綱 吸滴蟲類 Suctoria

- **Hypocoma*
- **Ephelota*
- Podophrya*
- Sphaerophrya*
- **Acineta*
- Tocophrya*
- Dendrosoma*
- Dendrocometes*

} ナマコの呼吸器に寄生す

T. pediculus—雑 12. 190 ナタマシ
ヤクシ, キンギヨ, ハイドラ等に
寄生す

ツリガネムシ; 初めて見られ記載さ
れたる原生動物 (LEEUWENHOEK
1675 年)

フナムシの鰓に寄生す

E. umbellaria 刺胞あり

Cauginfuforien

雑 8. 195; 葉 61; 紀 10. 2

全毛類に寄生す

Gammarus の鰓に寄生す

中間動物 (MESOZOA)

第一目 二胚蟲類 Dicyemida

- * *Dicyema*
- Dicyemenea*

第二目 直游類 Orthonectida

- * *Rhopalura*

Amoebophrya

Lohmannella

Haplozoon

性質の疑はし
きもの

- { *Salinella*
- { *Pemmatodiscus*

嘗て中間動物
と思はれし
ものにて現
今其本性を
知り得たる
もの

- { *Trichoplax*
- { *Treptoplax*
- { *Pompholyxia*
- { *Kunstleria*
- { *Physemaria*
- { *Buddenbrockia*

VAN BENEDEN 1876 年に命名 Zool.
Centbl. 15; 雜 20. 134
Mittl. Zool. St. Neapel 4; 雜 20.
120

雜 25. 155

Acanthometron, *Sticholonche*,
Noctiluca に寄生す "spiral body"
Fritillaria に寄生す 雜 25. 536
環蟲類の腸に寄生す

雜 4. 143

Eleutheria krohni の幼蟲 Z. A. 44. 1
Eleutheria elapardei の幼蟲
} *Sipunculus* の "urn" にて血管壁
} の細胞の分離せるもの
有孔類 /
退化したる線蟲 Z. w. Z. 102

第二門 海綿動物 (PORIFERA)

= Parazoa (sponges)
 Schwammtiere
 Schwämme

第一綱 石灰海綿類 (CALCAREA)

第二綱 硝子海綿類 (HEXACTINELLIDA)

第三綱 普通海綿類 (DEMOSPONGIA)

第一綱 石灰海綿類 CALCAREA

(calcareous sponges) 435 種既知

Amphiblastula (幼)

Kalkschwämme

Olynthus (幼)

雑 8. 173 (分類表); 紀 38. 5;
 不熟の無花果の義 HAECKEL は特
 別の屬と思ひたり

第一目 等腔類 Homocoela

= Ascones アスコン類

* *Clathrina*= *Ascella** *Leucosolenia*

1866 年に CLARK 初めて之にて嚢
 細胞を見たり

第二目 異腔類 Heterocoela

= Sycones サイコン類

* *Sycandra*= *Sycon*—雑 9. 341*Grantia*= *Uta**Grantessa**G. shimeji* ツキシメゲ*Leucandra*第二綱 硝子海綿類 HEXACTINEL-
LIDA = TRIAXONIDA 三軸類

(glass-sponges)

第一目 散針類 Lyssacina

葉 1. 43, 2. 41

* *Euplectella*

カイラウドウケツ(借老同穴)
 (Venus' flower basket)

E. marshalli 中に *Spongiocela venusta*
 二匹住む、紀 15. 1; 17. 9; 18.
 1, 7; 雑(政) 7, 93

*Acanthascus**Rossella**Walteria**Rhabdocalyptus**Crateromorpha*

葉 4. 119

* *Hyalonema*

ホツスカヒ (拂子介) (glass-rope sponge) 多くは柄に *Epizoanthus* なるイソギンチャク附着す 1832 年に GRAY はサンゴとして記載し 1850 年に VALENCIENNE 始めて海綿なりと云ふ

第二目 網針類 Dictyonina

- * *Farrea*
- Periphragella*
- Aphrocallistes*
- Chonelasma*
- Hexactinella*

第三綱 普通海綿類 DEMOSPONGIA
Rhagon (幼)

第一亞綱 四軸類 Tetraxonia

紀 33, 2, 5

第一目 肉海綿類 Carnosa

- * *Plakina*
- Chondrosia*

第二目 四針類 Tetractinellida

- * *Tethya*
- Geodia*
- Discodermia*

T. serica ヌリナス體外受精をなす
T. japonica グミ

D. japonica 石海綿 (Lithistida, stone-sponges) と云ふ類に屬す

第二亞綱 單針類 Monaxonida

淡水産のもののみならず鹹水産のものにも芽胞 (gemmule) を有するものあり

第一目 ハリコンドリア類

Halichondrina

- * *Reniera*
- Halichondria*
- Siphochalina*
- Chalina*
- * *Spongilla*
- Ephydatia*

トンビノハカマ

エダカイメン

{ ヌンスキカイメン (淡水海綿)
{ 葉 7. 105, 芽胞をフナノコと云ふ

S. fragilis 雜 28. 100, 117; 紀 39 1

* *Merlia*

M. normani Q. J. 56. 硅質と石灰質の兩様の骨片あり

第二目 強韌海綿類 Hadromerina

**Cliona*

(boring sponge) 體外受精をなす

Suberites

(Neptune's cup)

Poterion

(horny sponges) Hornschwämme

第三亞綱 角質海綿類 Keratosa

第一目 網角類 Dictyoceratina

**Euspongia*

ヨクヨウカイメン(浴用海綿) (bath-sponge or toilet-sponge) Badeschwamm

Hippospongia

ウマカイメン(馬海綿) (horse-sponge) Pferdeschwamm

第二目 樹角類 Dendroceratina

**Aplysilla*

Darwinella

第四亞綱 粘質海綿類 Myxospongida

**Oscarella*

(slime-sponges) Gallertschwämme
リカイメン

Halisarca

第三門 腔腸動物

(COELENTERATA)

Pflanzen-tiere

第一亞門 刺胞類 (CNIDARIA)

第一綱 ハイドロゾア類 (HYDROZOA)

第二綱 真正水母類 (SCYPHOZOA)

第三綱 珊瑚蟲類 (ACTINOZOA)

第二亞門 櫛水母類 (CTENOPHORA)

第一亞門 刺胞類 CNIDARIA

Reiffeltiere

第一綱 ハイドロゾア類 Hydrozoa

= Hydromedusae ハイドロ水母類

Seimquallen-雑 26. 308, 309, 310, 311, 312 號

= Craspedota 縁膜水母類

Planula (幼)

1847 年に Sir J. GRAHAM DALYELL 命名

Actinula (幼)

第一目 ハイドロクラゲ類 Leptolinae

= Acordyliae

Polyp とは RÉAUMUR のハイドラ, サンゴ, イソギンチャクに付けたる名にて * の腕と此等動物の觸手の類似によれるなり

第一亞目 ツブラリオ花水母類

Tubulario-anthomedusae

Blumenquallen 紀 27. 9

* *Hydra*

ハイドラ *Chlorella vulgaris* と共棲一雑 18. 185

Microhydra

Am. Nat. 1885

Protohydra

海産 Z. w. Z. 20

Polypodium

テフサメの卵に寄生 Morph. Jahrb. 12-雑 22. 219; 24. 572

* *Clava*

Clavatella

雑 1. 204

Cladocoryne

葉 7. 150

* *Corymorpha*

Monocaulus

* *Branchioceri-*

anthus

オトヒメノハナガサ *B. imperator* 紀 13. 2

* *Dendrocoryne*

Coryne

* *Tubularia*

* *Hydractinia*

Hydrocoryne

Podocoryne

Eudendrium

* *Cordylophora*

Pennaria

Bougainvillea

以上ポリプ形

Sarsia

Tiara

* *Ctenaria*

Kathkea

Eleutheria

Steenstrupia

Globiceps

Cladonema

Moerisia

Mnestra

以上水母形

第二亞目 カンパニユラリオ褶水母類

Campanulario-leptomedusae

* *Obelia*

* *Campanularia*

* *Sertularia*

Plumularia

Antennularia

Agluopenia

D. secunda; *D. misakiensis* (三崎産)
葉 1. 93

T. mesembryanthemum (三崎産)

クラゲ生せず一雜 23. 16 (イガクイ
カヒ) 三崎にて(中に *Eupagurus*
constans 住む)

H. miurensis (三崎産)

Dysmorphosa なるクラゲを生ず *P.*
minoi オコセに寄生す

半鹹水より淡水に入る

P. cavolinii (三崎産)

Hippocrene, Margelis なるクラゲを
生ず

本邦産のもの一雜 2. 95, 143, 292
425; 3. 9, 301; 4. 41, 93, 121,
265, 345, 429; 5. 15; 20. 20

Syncoryne のクラゲ

HAECKEL は柳水母を之より導けり

Clavatella のクラゲ (19 頁参照)

Corymorpha のクラゲ

Pennaria のクラゲ

Stauridium のクラゲ

M. lyonsi (淡水)

Phyllirhoë に寄生す

Faltenqualle一紀 27. 9

クラゲも *Obelia* と云ふ

P. hertwigi nematophore (變化せる
dactylozoid) を有す

A. whiteleggi; *A. suensonii* var. *ijimai*
カヤ (corbula) を有す

	<i>Gonothyrea</i>	
	<i>Clytia</i>	
	以上ホリブ形	
	<i>Spirocodon</i>	= <i>Polyorchis</i> カミクラゲ (鬚クラゲ) <i>S. saltatrix</i>
	<i>Eucope</i>	<i>Campanularia</i> のクラゲ
	<i>Euchilota</i>	コモチクラゲ
	<i>Mitrocoma</i>	<i>Plumularia</i> のクラゲ
	<i>Irene</i>	
	* <i>Aequorea</i>	
	<i>Mesonema</i>	
	<i>Thaumantias</i>	
	以上水母形	
第二目	硬水母類 <i>Trachylianae</i>	Rolbenquallen
	= <i>Cordyliae</i>	
第一亜目	硬水母類 <i>Trachymedusae</i>	紀 27. 9
	* <i>Liriope</i>	
	<i>Geryonia</i>	= <i>Carmarina</i>
	<i>Olindias</i>	<i>Olindioides</i> —ハナガサクラゲ 雑 17. 130. <i>O. formosa</i>
	<i>Gonionemus</i>	= <i>Gonionhma</i> カギノテクラゲ 雑 17. 134; 29. 425
	* <i>Craspedocusta</i>	= <i>Limnocodium sowerbyi</i> 1880 年六 月十日 Regent's Park に出現 1916 年九月ケンタッキーに出現 淡水—雑 19. 296, 319; 葉 6. 219 淡水—雑 29. 499
	<i>Limnocnida</i>	
	<i>Rhopalonema</i>	
	<i>Aglaura</i>	
第二亜目	^{カラスデ} 堅筋水母類 <i>Narcomedusae</i>	Spangenquallen—紀 27. 9
	* <i>Aegina</i>	
	<i>Solmundella</i>	二本の觸手あり
	<i>Hydroctena</i>	頂感覚器あり
	<i>Cunocantha</i>	planula 芽生生殖をなす
	<i>Aeginopsis</i>	
	<i>Cunina</i>	planula 芽生生殖をなす
第三目	ハイドロ珊瑚類 <i>Hydrocoralliae</i>	

- * *Millepora*
* *Stylaster*
-
- † *Stromatopora*
- 第四目 管水母類 Siphonophora
- 第一亞目 鐘游類 Calyconecta
- Eudoxia*
- Sphaeronectes*
Muggiaea
Praya
Hippopodius
Diphyes
* *Monophyes*
- 第二亞目 胞游類 Physonecta
- Halistemma*
- * *Physophora*
Agalma
Crystallomia
Agalmopsis
- 第三亞目 氣游類 Auronecta
- Stephalia*
Rhodalia
- 第四亞目 囊游類 Cystonecta
- Cystonula* (幼)
- * *Physalia*
- Rhizophysa*
- 第五亞目 板游類 Disconecta
- Disconula* (幼)
- Discalia*

江ノ島サンゴ

中サイリノーリヤン紀より 中古代
 916 Freuquallen—Challenger Report
 23; 雑 20. 77, 101, 139; 22. 290
 雑 8. 63, 139, 169; 27. 135, 191,
 317, 428, 577

生殖器の熟せるもの、分離したる
 もの

バテイクラゲ—雑 22. 468

= *Cupulita* シダレザクラクラゲ—雑
 23. 359

マレンクラゲ—雑 23. 309

雑 23. 1

雑 23. 9

ナガヤワクラゲ—雑 23. 262

カツチノエボシ *P. utriculus* (Por-
 tugese man-of-war) 觸手 50 尺に
 達するものあり—雑 22. 448

Nomeus (Gobiomorus) gromovii (man
 of-war-pilot) 觸手の間に棲むこと
 あり

パウズニラー—雑 22. 445

	* <i>Veleva</i>	カツナノカンムリ (paper-sailor)
	<i>Chrysomitra</i>	花水母なり下降して深海に行く
	Conaria (幼)	深海
	Rataria (幼)	上昇して表面動物となる
	* <i>Porpita</i>	ギンクロ(銀貨)
第五目 筆石類	Graptolithida	キヤンブリアン紀より下石炭紀まで
	*† <i>Monograptus</i>	
	† <i>Diplograptus</i>	
第二綱 真正水母類	SCYPHOZOA	ハチクラゲ
	= ACRASPEDOTA 無縁膜水母類	Lappequallen (sea-blubbers)
	= ACALEPHAE 水母類	Neffelquallen
	= SCYPHOMEDUSAE 鉢水母類	
	Scyphistoma	杯口の義
	= Hydra-tuba	
	Strobila	モミの果の義
	Ephyra	
第一目 十字水母類	Stauromedusae	Becherquallen—紀 27. 9
	<i>Tessera</i>	
	* <i>Lucernaria</i>	シフモンシクラゲ—雑 (歐) 8. 67; 葉 1. 141 本邦のは 紀 17. 1; 29. 317 <i>Kishinouyea nagatensis</i>
	<i>Halyclistus</i>	
	<i>Stenoscyphus</i>	<i>S. inabai</i> ムシクラゲ—雑 5. 416; 紀 17. 7
第二目 囊水母類	Peromedusae	Lafchenquallen
	<i>Pericolpa</i>	
	<i>Periphylla</i>	
第三目 立方水母類	Cubomedusae	Würfelquallen (sea-wasps)
	* <i>Charybdea</i>	アンドンクラゲ <i>C. rasomii</i> —雑 3. 437; 30. 24; 紀 27. 9
	<i>Tamoya</i>	紀 27. 9
第四目 圓盤水母類	Discomedusae	Echeibenquallen
第一亞目 管口類	Cannostomiaae	
	* <i>Nausitoë</i>	<i>N. albida</i> の scyphistoma を <i>Stephanoscyphus mirabilis</i> と云ひ海綿に寄生す

Linerges

第二亞目 扇口類 Semostomiae

AureliaCyanea**Dactylometra**Thyanostoma**Chrysaora***Pelagia*

第三亞目 根口類 Rhizostomiae

Pilema*Mastigias**Rhopilema*第三綱 花形蟲類 ACTINOZOA
= ANTHOZOA第一目 四放珊瑚類 Tetracoralla
= Rugosa 皺珊瑚類*†*Calceola*第二目 六放類 Zoantharia
= Hexacoralla
= Hexactinia
Edwardsia-stage (幼)第一亞目 イソギンチャク類 Actiniaria
= Malacodermia 軟皮類**Sagartia**Anemonia**Anthopleura*

紀 17. 7, 27. 9

= *Aurelia* Dhrenqualle*A. aurita* var. *colpota*

ミヅクラゲ—雑 3. 289

イウレイクラゲ (blue-jelly)—雑 3. 39

サナダクラゲ *D. pacifica* var. *feruginaster*—雑 4. 261

ムラサキクラゲ—雑 7. 311; 7 (歐) 133

雌雄同體なり

planula クラゲとなる

紀 17. 7; 27. 9 縁の觸手なし 1870 年に BRANDT 幼きときに普通の口を有すを見る

= *Rhizostoma*ヌコクラゲ (*M. papua* var. *physophora*)—雑 7. 113; 7 (歐) 86.備前クラゲ *R. esculenta*—雑 2. 47; 3. 53.

Rorallentiere

サイリ—リヤン紀よりパーミヤン紀

雑 7. 314; 8. 455; 21. 525; 23. 125

(sea-anemones) Eetrofen

S. nitida; モ、イロギンチャク *S. leucolena*; *S. rosea* 有毒*A. japonica* (三崎産)

	* <i>Actinia</i>	ウメボシ <i>A. mesembryanthemum</i>
	<i>Adamsia</i>	三崎にては <i>A. rondeletii</i> は <i>Pagurus arrusor</i> と共生す
	<i>Cribrina</i>	<i>C. artemisia</i> (三崎産)
	<i>Metridium</i>	
	<i>Zoanthus</i>	
	<i>Epizoanthus</i>	<i>E. fatuus</i> ホツスガヒにつく
	<i>Gonactinia</i>	オヨギギンチャク(アゲモにつく)
	<i>Corynactis</i>	雑 8. 455
	<i>Minyas</i>	
	<i>Bunodes</i>	
	<i>Bicidium</i>	クラゲに寄生す
	<i>Peachia</i>	<i>P. helli</i> は <i>Crambessa</i> (根口類) に寄生す
	* <i>Edwardsia</i>	
	* <i>Cerianthus</i>	雑 31. 118
	Arachnactis (幼)	
第二亞目	ミドリイシ類 <i>Madreporaria</i>	stone-corals) Steinforallen
	= <i>Scleroderma</i> 硬皮類	
	<i>Astroides</i>	<i>A. calycularis</i> イボヤギ
	* <i>Astrea</i>	キクメイセキ(菊目石)
	<i>Astrangia</i>	} ナウセキ(腦石) (brain-coral)
	<i>Diploria</i>	
	<i>Coeloria</i>	
	<i>Meandrina</i>	
	<i>Lophohelia</i>	ビハガライシ
	* <i>Fungia</i>	クサビライシ—雑 26. 212 水平分裂をなす Q. J. 29; Z. w. Z. 22.
	* <i>Madrepora</i>	= <i>Acropora</i> ミドリイシ (deer's horn-coral)
	<i>Porites</i>	ハマサンゴ
	<i>Caryophyllia</i>	
	<i>Flabellum</i>	
第三亞目	マヨクサング類 <i>Antipatharia</i>	Soruforallen—彙 7. 231
	<i>Antipathes</i>	(sea-whip)
第三目	八放類 <i>Aleyonaria</i>	
	= <i>Octocoralla</i>	
	= <i>Octactinia</i>	

- | | | | |
|------|-----------------------|--------------|---|
| 第一亞目 | ウミケイトウ類 | Alcyonacea | Stieberforalle |
| | <i>Harteia</i> | | |
| | <i>Acrossota</i> | | <i>S. liposclera</i> 羽状ならざる単一の觸手を有す |
| | * <i>Tubipora</i> | | クダサンゴ (organ-pipe coral) Organelforalle |
| | * <i>Alcyonium</i> | | ウミケイトウ (dead-men's fingers) Lederforalle |
| | <i>Spongodes</i> | | = <i>Dendronephthya</i> トゲトサカ |
| | <i>Nidalia</i> | | ウミイサゴ |
| | <i>Nephthya</i> | | |
| | <i>Bathyalcyon</i> | | |
| | <i>Telesto</i> | | 葉 7. 113 |
| | * <i>Heliopora</i> | | (blue coral) <i>H. coelurea</i> —雜 25. 176 |
| 第二亞目 | ヤギ類 | Gorgonacea | Rindenforallen |
| | * <i>Gorgonia</i> | | |
| | * <i>Isis</i> | | トクササンゴ <i>Ceratoisis</i> |
| | <i>Rhizidogorgia</i> | | ウミウチハ |
| | <i>Plexaura</i> | | クロサンゴ |
| | <i>Chrysogorgia</i> | | キンヤギ—雜 25. 494 |
| | <i>Anthoplexaura</i> | | 紀 27. 14 <i>Hydrichthella epigorgia</i> 附生す |
| | * <i>Melitodes</i> | | <i>M. flabellifera</i> イソバナ |
| | <i>Thouarella</i> | | 葉 7. 49 |
| | <i>Keroeides</i> | | 葉 7. 223 |
| | * <i>Corallium</i> | | サンゴ (coral) Gelforalle—雜 15. 103, 362 |
| | | | 本邦産のもの— <i>C. japonicum</i> アカサンゴ, <i>C. konjoii</i> シロサンゴ, <i>C. elatius</i> モ、イロサンゴ—雜 20. 409, 452, 517; 21. 1; 22. 279; 葉 6. 229; 紀 23. 12; 27. 7; 32. 10; 33. 2 |
| 第三亞目 | ウミエラ類 | Pennatulacea | Seeleder |
| | * <i>Pennatula</i> | | (sea-pen, sea-feather) ウミエラ <i>P. fimbriata</i> ヲキサシ <i>P. naresi</i> , (黄) <i>Scytalium splendidus</i> (赤) |
| | * <i>Cavernularia</i> | | ウミシヤボテン <i>C. habereri</i> —雜 12. 280, 426 |

Renilla
Virgularia
Halipteris
Kophobelemnon

ウミシヒタケ

H. christii ウミヤナギ

第二亞門 櫛水母類 CTENOPHORA
 =CTENAREA

(comb-jelly, walnut-jelly)
 Rippenquallen
 雑 21. 72 (本邦産)
 雑 24. 574 (渦蟲との關係), 葉 9.
 451

第一目 風船水母類 Cydippida

**Euchlora*
 **Hormiphora*
Callianira
 **Lampetia*
Pleurobrachia

刺胞あり

= *Cydippe* フウセンクラゲ

PLATYCTENIDA

**Coeloplana*

クラゲ Δ シ (Coelenterata と Planaria
 との兩語の結合) 1881年發見—葉
 4. 103 雑 30. 484; Zool. Jahrb.
 Anat. u. Ont. 24

Ctenoplana*Tjalfella* (チャルフィ
 エラ)

1886年發見、Z. w. Z. 43; Q. J. 39
T. tristoma 1908年アーンランド
 にて *Umbellula* (ウミエラ) の柄
 に附着せるを “Tjalfe” 丸にて
 JENSEN 發見, 10-15 mm.—雑 23.
 410

Gastrodes

G. parasiticum サバルに寄生す
 KOROTONEFF 1886年に發見 1893
 年に HEIDER クシクラゲ類に入
 る

第二目 兜水母類 Lobata

**Bolina*カブトクラゲ *Bolinopsis mikado*

5-2 mm にて生殖器熟し dissogony
 をなすものあり (LEUCKART
 Festsch. 1892).

Eucharis
Mnemiopsis

第三目 帶水母類 Cestida

**Cestus*

= *Cosium* オビクラゲ (Venus' girdle)
Benn&gürtel

第四目 瓜水母類 Beroida

**Beroë*

ウツクラゲ *Melonenqualle*

第四門 扁形動物

PLATHELMINTHES

= PLATYHELMINTHES

= PLATODES

第一綱 渦蟲類 (TURBELLARIA)

第二綱 吸蟲類 (TREMATODA)

第三綱 條蟲類 (CESTODA)

第一綱 渦蟲類 TURBELLARIA

第一目 無腸類 Acoela

* *Proporus*

Haplodiscus

Aphanostoma

Convoluta

Polychoerus

第二目 棒腸類 Rhabdocoelida

Vortex

Vorticeros

* *Microstomum*

Stenostomum

Fecampia

第三目 三岐類 Triclada

Procerodes

* *Planaria*

Dendrocoelum

Phagocata

Bdelloura

Geoplana

* *Bipalium*

Placocephalus

1854年 LEUCKART 命名
(flat-worms)

Plattwürmer

ツブムシ類
Strudelwürmer

Q. J. 47, 51, 52; 雑 16. 186, 268
KEEBLE, F.-Plant-animals (1910)

雑 30. 77, 111, 196
ハイドラの刺胞を有す

F. erythrocephala はカニ, ヤドカリ
の“體腔”に
F. xanthocephala は *Idotea* の“體腔”
に寄生す

雑 27. 161; 29. 322, 325 (發生) 370
(海産); 彙 9. 153, 325

P. lobata = *Gunda segmentata* (海産)
Mittl. Zool St. Neapel 3

プラナリヤ *P. papillifera*

口多シ
カブトガニに寄生 (海産)

カウガイビル(筍蛭) 一雑 14. 196
} *P. fuscatus* (東京)

第四目 多岐類 Polyclada

Götte's larva (幼)

Müller's larva (幼)

**Planocera*

Leptoplana

Stylochus

Prostheceræus

Thysanozoon

Temnocephaloidea 截頭類

Temnocephala

Scutaziella

Actinodactylea

第二綱 吸蟲類 TREMATODA

第一目 一世代類 Monogenea

=Heterocotylea 異盤類

=Ectoparasitica 外寄生類

=Polystoma 多口類

Dactylogyrus

**Gyrodactylus*

**Polystomum*

**Diplozoon*

DIPORPA

Tristomum

Calicotyle

第二目 楯盤類 Aspidocotylea

Aspidogaster

第三目 二世代類 Digenea

=Malacotylea 軟盤類

=Entoparasitica 内寄生類

=Distoma 二口類

Miracidium (幼)

Sporocyst (幼)

(sea-planarians) Seeplanarien 雜 29
405 (發生 30. 18, 74); 彙 9. 431

JOHANNES MÜLLER 發見

Saugwürmer

紀 8. 1

金魚の鰓に多し

サンダイムシ(吸蟲類にて卵黄腺な
きは此圖のみなり)

P. integerrimum アカガヘルの膀胱
に寄生

フタゴムシ一紀 4. 1

雜 27. 475

雜 19. 211, 354; 20. 10; 24. 602;
27. 1

腹吸盤を口と思ひ二口類と云ふ

小供の義

- Redia (幼)
- Cercaria (幼)
- * *Fasciola*
- Fasciolopsis*
- Paragonimus*
- * *Clonorchis*
- Eurythrema*
- Dicrocoelium*
- * *Schistosomum*
- Prosthogonimus*
- * *Didymozoon*
- Urogonimus*
- Monostomum*
- Amphistomum*
- Didymozoon*
- Dissotrema*
- FRANCESCO REDI (1626-1697 年) より来る
- 雑 29. 103
- F. hepatica* = *Distomum hepaticum* 肝蛭 (liver-fluke) Leberegel *Limnaeus minutus (trunculatus)* は中間宿主なり, 羊, 牛, 馬に寄生す
- F. buski* = *Distomum buski* = *D. crassum* 肥大ダストマ 雑 27. 112 支那人, 豚に寄生す
- P. westermani* = *Distomum pulmonale* 肺蛭, 肺二口蟲
- ニナ, カニ (*Sasarma, Potamon*) ヲリガニ (朝鮮) は中間宿主なり 雑 24. 457, 502; 31. 37, 80.
- C. sinensis* = *Distomum spatulatum* 肝臟ダストマ—紀 1. 1; 雑 22. 465; 彙 7. 271
- E. pancreaticum* 東洋の牛蹄躰 雑 20. 11, 27. 1.
- D. lanceolatum* 槍形ダストマ
- S. japonicum* 日本住血吸蟲 (片山病)¹ 中間寄生はミヤイリガヒ (*Katayama nosophora*) 雑 23. 73; 31. 97 彙 5. 147 九州帝國大學紀要 1. 日新醫學第六年一號 雑 30. 74
- S. haematobium* = *Bilharzia haematobia* ビルハルツ住血吸蟲
- P. japonicus* 鶏卵ダストマ
- D. scombr*—雑 26. 200
- U. macrostomus* = *Distomum macrostomum* 此 sporocyst はカモノアラガヒ (*Succinia amphibia*) に入りて *Leucochloridium paradoxum* として知らる
- 腹吸盤なし *M. lentis*
- 雌雄異體 雑 26. 200 紀 39. 8

1 山梨縣片山村に流行する故に名づく

第三綱 條蟲類(縷蟲類)¹ CESTODA

Onchosphaera (幼)

Pleurocercoid (幼)

Cysticercoid (幼)

第一目 單蟲類 Monozoa

**Caryophyllaeus*

Archigetes

Amphilina

Amphiptyches

第二目 節蟲類 Merozoa = Polyzoa

**Ligula*

Tetrarhynchus

**Dibothriocephalus*

Sparganum

Dipylidium

Hymenolepis

**Taenia*

サナダムシ
(tape-worms) Bandwürmer

(bladder-worm) Blasenwürm } Finne
(pimple)

コヒ, フナの腸 雜 26. 31

Tubifex

テフザメの體腔

= *Gyrocotyle* ギンサメ

水鳥は最終宿主なり, 水産講習所試
験報告九卷七册

サメ, エヒの腸に棲む此一種の幼形
なサシと云ひカツナ, イカに寄生
す

T. uniofactor 及び *Tylocephalum mar-*
garitifera は眞珠の中心となるこ
とあり

= *Bothriocephalus D. latus*. 擴節裂頭
條蟲 紀 2. 1, ケンミヤンコより
淡水魚(主としてマス)

S. mansonii

S. proliferum *Pleurocerooides prolifer-*
一雜 21. 49; 紀 20. 7

D. caninum 瓜實條蟲一雜 21. 159

H. nana 一雜 20. 297; 21. 149; 24.
549; 彙 7. 235

T. solium 有鉤條蟲
幼蟲は *Cysticercus cellulose* と云ひ
豚肉にあり

T. saginata = *mediocanellata* 無鉤條
蟲幼蟲は *Cysticercus bovis* にて牛
肉にあり

T. crassicolis 猫條蟲

此幼蟲は鼠の肝臓にありて *Cysti-*
cercus fasciolaris と云ふ一雜 27.
215

T. echinococcus 狗兒條蟲 (hydatid
cyst)

1 條は音タウなれども俗にアウと云ふ縷は國字なり

Davainea
Anoplocephala
 **Moniezia*
Bertia

T. coenurus 犬の腸幼蟲は *Coenurus*
cerebralis 羊の腦に寄生して gid
 を起す

T. serrata 犬條蟲幼蟲は *Cysticercus*
pisiformis とて死の肝臟に寄生す
T. denticulata 牛條蟲

雜 18. 173, 203

鳥

一節に二組の生殖器あり

雜 18. 143

第五門 ^{ダウ} 紐形動物 (NEMERTINI)

ヒモムシ類 Schmarwürmer
 雑 7. 192; 10. 38, 116, 184, 331,
 424

第一綱 二筋類 (DIMYARIA)

第二綱 三筋類 (TRIMYARIA)

第一綱 二筋類 DIMYARIA

第一目 原紐蟲類 Protonemertini

* *Carinella*

C. punctata (三崎産)

第二目 中紐蟲類 Mesonemertini

* *Cephalothrix*

三崎にではウミトラノホに着生す
C. linearis

Carionoma

第三目 後紐蟲類 Metanemertini

= Hoplonemertini 鎧紐蟲類

* *Amphiporus*

Tetrastemma

Carcinonemertes

C. mitsukurii 雑 22. 111 モクヅガ
 の卵塊に棲む

Stichostemma

淡水一葉 8. 239

Prostoma

P. lacustre 淡水胎生

Pelagonemertes

Nectonemertes

N. japonica Z. A. 40

* *Malacobdella*

ウバガヒ(ホツキ)の外套腔に棲む
M. japonica—雑 9. 233; 葉 1.
 105

第二綱 三筋類 TRIMYARIA

第一目 異紐蟲類 Heteronemertini

Desor's larva (幼)

Boston 灣にて発見

Pilidium (幼)

小さい帽子の義

* *Lineus*

十五間に達するものあり *L. fus-*
coviridis (三崎産)

Micrura

Cerebratulus

第六門 輪形動物

(TROCHELMINTHES)

第一類 輪蟲類 (ROTIFERA)

第二綱 腹毛類 (GASTROTRICHA)

第三綱 動物類 (KINORHYNCHA)

第一綱 輪蟲類 ROTIFERA
= ROTATORIA第一目 固著類 Rhizota
= Sedentaria* *Melicerta*
Floscularia
Stephanoceros
*Conochilus** *Trochosphaera*

第二目 蛭形類 Bdelloidea

Rotifera
* *Philodina*
Discopus

第三目 游泳類 Ploima

第一亞目 無甲類 Iloricata

* *Hydatina*
* *Polyarthra*
* *Asplanchna*

第二亞目 有甲類 Loricata

* *Brachionus*
Euchlanis

第四目 跳脚類 Scirtopoda

* *Pedalion*クルマムシ類
(wheel-animalcules)
Näbertiere
1695年に Rev. J. HARRIS 初めて
記載す1859年 Zamboanga, P. I. の水田
に発見 Z. w. Z. 22. 後に楊子江
オーストラリア, イリノイ川に發
見さるよく乾燥に堪ゆ
Synapta の皮に棲む*H. senta*
P. platyptera (東京産)
雜 24. 632*B. pala* は水硝子を加へたる水中に
て *B. amphiceros* となる1871年に発見、英國、支那、オース
トラリアに産す、淡水

- | | | |
|-----|----------------------|-----------------------------------|
| | * <i>Hexarthra</i> | 半鹹水(エジプト, シリアに産す) |
| 第五目 | セイソソ類 Seisonacea | <i>Nebalia</i> の外寄生蟲 |
| | <i>Seison</i> | |
| | <i>Paraseison</i> | |
| 第二綱 | 腹毛類 GASTROTRICHA | Z. w. Z. 45. 49 |
| | * <i>Chaetonotus</i> | イヌチムシ |
| | <i>Ichthydium</i> | |
| | <i>Dasydites</i> | |
| 第三綱 | 動物類 KINORHYNCHA | |
| | * <i>Echinoderes</i> | DUJARDIN 1841 年に發見
海産(三崎に稀に見る) |

第七門 内肛動物
(ENDOPROCTA)

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| * <i>Pedicellina</i> | ウミウドンゲ一雜 2. 233; 7 (歐) 76 |
| <i>Barentsia</i> | 雜 24. 245 |
| <i>Loxosoma</i> | 淡水 Bull. Mus. Comp. Zool 24 |
| <i>Urnatella</i> | |

第八門 環形動物 (ANNELIDA)

Ringelwürmer ob.
Gliederwürmer

Trochophore (幼)

1875 年に LANKESTER († Trocho-
sphere と名づく

第一綱 原環蟲類 (ARCHIANNELDA)

第二綱 毛足類 (CHAETOPODA)

第三綱 蛭類 (HIRUDINEA)

第四綱 蛭類 (ECHIUROIDEA)

第一綱 原環蟲類 ARCHIANNELIDA

* *Dinophilus** *Protodrilus** *Polygordius*

Loven's larva (幼)

*Chaetogordius** *Saccocirrus**Histiodrilus**Stratiodrilus*

第二綱 毛足類 CHAETOPODA

第一目 多毛類 Polychaeta

第一亞目 游行類 Errantia

* *Syllis**Trypanosyllis** *Myrianida**Autolytus**Hesione**Aphrodita**Polynoë**Panthalis** *Alciopa**Cloeia**Tomopteris** *Nereis*Uranneliden
雜 11. 119Z. w. Z. 37; Q. J. 27, 57; Proceed.
Philad. Acad. 59

Mittl. Neapel 3

葉 4. 137

1840 年に發見

Ann. Sc. Nat. 1875; 雜 11. 191

Arch. d. Biol. 5

Q. J. 43

Borstenvürmer

紀 30. 2

S. ramosa—雜 7. 175

雜 18. 1; 葉 5. 273

ウミネズミ (sea-mouse) *Seeraupe*

ウロコムシ (scaly worm)

葉 5. 23 紡績線より黄糸を出して
巢を造る(俗にアマダヒの巢)= *Alciopa* 紀 36. 5; 雜 31. 205*C. flava* ウミケムシ

雜 31. 71; 紀 36. 5

(clam-worm, sand-worm) 葉 6. 295

ゴカイ *N. japonica*—雜 10. 417イソゴカイ *N. micodonta*—雜 15.
427; (淡水のもの) 17. 181

Heteronereis

*Halla**Nephtys**Diopatra**Malphysa**Lumbriconereis**Onuphis**Notopygos***Ophryotrocha***Eunice**Acrocirrus**Sturocephalus***Ceratocephale***Glycera*

Myzostomida 吸口蟲類

MyzostomaProtomyzostomum*

第二亞目 管住類 Sedentaria

ChaetopterusTerebella**Amphitrite**Capitella**Pectinaria**Polyophthalmus**Ophelia**Arenicola**Malane**Clymene*

Mitraria (幼)

**Luonome*

スゴカイ, フクロイソメ

イハムシ

L. heteropoda イソメ*O. willemoesii* 管に棘あり

雑 22. 45

O. purilis= *Lysidice*. *E. viridis*

(palolo worm) 雑 17. 1

E. tibiana zig-zag の透明なる管に住む*A. validus* (三崎産)

(Atlantic palolo) 雑 17. 1

C. osawai イトメ、バチ

(Japanese palolo) 雑 17. 1, 301;

紀 17. 11

チムシ、血管なく體腔に血あり *G. misakiensis* (三崎産)雑 24. 639; Z. A. 39; Z. w. Z. 109
テブルモブルに寄生す

Röhrenwürmer

雑 23. 431

(lug-worm) 雑 22. 401

雑 14. 203; 彙 4. 109

L. japonica ケヤリ

Potamilla

エラコ(鰓蠶) *P. myriopus* 食用に供す

**Serpula*
Hydroides
**Spirorbis*

= *Eupomatus*
(snail-worm)

Sternaspis

Q. J. 40

第二目 食毛類 Oligochaeta

第一亞目 水ミ、ズ類 Naidomorpha

= Limicoli 泥住類

= Microdrili 小ミ、ズ類

Aelosoma

雑 11 192

**Ctenodrilus*

雑 11 193 多毛類に入る、人あり

**Lumbriculus*

Limnodrilus

モ、ホ、ツキ一紀 35. 4; 葉 3. 5
雑 26. 231, 301

Vermiculus

葉 2. 103

Tubifex

Nais

= *Stylaria*

Chaetogaster

Dero

雑 19. 98

Branchiobdella

北海道のザイガニに寄生す

Stephanodrilus

葉 2. 65, 103; 3 13; 雑 7. 162, 196

第二亞目 陸ミ、ズ類 Lumbricomorpha

= Terricola 陸住類

= Macrodrili 大ミ、ズ類

**Lumbricus*

L. trapezoides 一卵二匹となる Q. J. 27

Allolobophora

= *Eisenia* (red-banded earthworm, brandling)

**Perichaeta*

1.23 m.

Megascoides

ウミミ、ズ海産一雑 10. 76; 葉 2-21

Pontodrilus

(leeches) Buntegel od. Egelwürmer
雑 22. 56; 葉 7. 165; 紀 8. 2
Rüffelegel

第三綱 蛭類 HIRUDINEA

第一目 吻蛭類 Rhynchobdella

Piscicola

淡水魚の皮膚に寄生す

**Pontobdella*
Ichthyobdella
Ozobranchus
Carcinobdella

**Clepsine*
Hemiclepsis

Haemantaria

第二目 顎蛭類 Gnathobdella

**Hirudo*

Haemopsis
Leptostoma
Limnatis
Herpobdella
Orobdella

Haemadipsa
**Acanthobdella*

第四綱 蛭類 ECHIUROIDEA

=GEPHYREA ARMATA

=GEPHYREA CHAETIFERA

**Urechis*
**Bonellia*

Protobonellia
Hamingia

ウミビル
ウチビル
雑 7. 33; 7 (歐) 1; 葉 8. 1
カニビル、*ラマガニ寄生す卵殻も
多く附着す
= *Glossiphonia*
H. kismiana カラスガ^Eの外殻腔
に寄生す
H. officinalis アメリカの薬用ビル
H. ghilianii 有毒
Rieferegell Q. J. 27

ヒル *H. nipponica* HAYCRAFT 1884
年に hirudin を得
(horse-leech) 馬蛭
= *Whitmania* ウマビル
L. nilotica 人、馬等の鼻腔に寄生す
= *Nephele*
O. octonaria ミ、ズビル、ミ、ズを
食ふ
ヤマビル
Bull. Acad. Imp. Sc. St. Peters-
bourg 5; 雑 22. 57

ユムシ類
雑 17. 269; 紀 20. 4
Gephyrea はギリシヤ語の橋の義に
て蠕蟲とナマコの橋なりとの意
味なり
= *Echiurus* ユムシ
bonellin なる色素を有す ROLANDO
1816 年にサルゲニヤにて発見吻
を尾と思ふ雄は 1-2 mm. にて
LACAZE-DUTHIERS 1858 年に發
見寄生蠕蟲と思ふ KOWALEVSKY
1868 年に始めて雌なるを知る
雑 13. 19, 89, 161; 紀 21. 8
葉 6. 239
葉 7. 61 雌雄の形異なること *Bonellia*
の如し

**Thalassema*

紀 21. 8 *T. elegans* 排灌器 13-27
對有す

**Ikeda*

サナグユ Δ *I. taenioides* 九尺に達
し排灌器 200-400 對あり一雜 13.
382; 26. 152; 紀 21. 8

第九門 軟體動物 (MOLLUSCA) (Mollusks)
Weichtiere

第一綱 原軟體類 (AMPHINEURA)

第二綱 瓣鰓類 (LAMELLIBRANCHIA)

第三綱 掘足類 (SCAPHOPODA)

第四綱 腹足類 (GASTROPODA)

第五綱 頭足類 (CEPHALOPODA)

Trochophore (幼) 環節生むす

第一綱 原軟體類 AMPHINEURA

Urmollusken

第一目 有板類 Placophora

Räferschneden

= Isopleura 等側類

* *Chiton*

ガイガセ, ヒヅラガヒ

Acanthochiton

Chitonellus

= *Cryptoplox*

Cryptochiton

第二目 溝腹類 Solenogastres

= Aplacophora 無板類

雑 24. 314; 31. 235

* *Neomenia*

Proneomenia

* *Chaetoderma*

第二綱 瓣鰓類 LAMELLIBRANCHIA

(bivalves), Muscheln—雑 12. 193;
26-28 卷に附録として岩川氏の日
本産蛤類目録あり

= ACEPHALA 無頭類

= PELECYPODA 斧足類

第一目 原鰓類 Protobranchia

Nucula

キラ、ガヒ—雑 25. 575

Leda

* *Yoldia*

ベツカフキラ、

Solenomya

第二目 絲鰓類 Filibranchia

Anomia

ナミマガシハ (jingle-shell)

Placenta

= *Placuna* マドガヒ (window-shell)

Arca

アカガヒ, サルボホ, ハヒガヒ

Archemuschel

Pectunculus
Trigonia
 **Mytilus*
Modiola
Lithodomus

第三目擬瓣鰓類 Pseudolamellibranchia

Margaritifera

Pteria
Pinna
Malleus
 **Ostrea*

**Pecten*

Spondylus
Lima

第四目 真正瓣鰓類 Eulamellibranchia

Cardita
Corbicula

**Unio*

Cristaria

**Anodonta*

Margaritana

Glochidium (幼)

Sphaerium

Tellina

Donax

Macra

Tresus

タマキガヒ

イガヒ (mussel) Riesmuschel

ヒバリガヒ

=*Lithophaga* イシマテ

(date-shell) *L. dactylus* は有名なる
 セラピスの柱に住みたり、此の穴
 に土入り芋石(下野鹽原)となる

=*Meleagrina* *M. martensi* アユヤガ
 ヒ, シンジュガヒ *M. margaritifera*
 クロテフ *M. maxima* シロテフ,
 Perlmuschel (pearl-oyster)

=*Avicula* マベ

ヌイラギ *Stedmuschel*

シユモクガヒ (hammer-shell)

カキ (oyster) Muster—雑 22. 491
 緑色なるは *Navicula ostrearia* によ
 る—雑 29. 294

ホタテガヒ (scallop) 雑 30. 後 43,
 31. 後 45

P. jacobaeus (St. James shell, pil-
 grim-shell)

ウミギク

ミノガヒ

トマヤガヒ

シヤマ—葉 6. 153

カラスガヒ

トアカヒ *Flußmuschel*, *Teichmuschel*

カハシンジュガヒ *Flußperlmuschel*

雑 24. 148

=*Cyelas*

トブシヤマ

ベニガヒ

ナミノコ

バカガヒ, ウバガヒ (ホッキ), シホ
 フキ

ミルケヒ

Venus
Cytherea
Sunetta
Dosinia
Tapes
Saxidomus
Chama
Cardium
Tridacna

**Mya*

**Solen*

Solenocurtus

Pholas

**Teredo*

Xylotrya

Aspergillum

Anatina

**Entovalva*

第五目 隔鰓類 Septibranchia

**Poromya*

Cuspidaria

†*Caprinula*

†*Caprina*

†*Hippurites*

第三綱 掘足類 SCAPHOPODA

=SOLENOCONCHA 溝殻類

**Dentalium*

Siphonodentalium

オニアサリ (quohog)

=*Mertrix* ハマグリ

ワスレガヒ

ガロミガヒ

アサリ

ウチムラサキ

キクザル *Gienmuschel*

トリガヒ (cockle)

シヤコ (Neptune's cradle) *Niefen-*
muschel

オホノガヒ (clam, long-neck clam,
soft-shell clam) *Klaffmuschel*

マテ, カミソリガヒ (razor-shell)
Messer-muschel

アケマキ—*雑* 22. 51

カモメガヒ, ウミタケ (*piddock*)

フナクヒムシ (ship-worm) *Schiff-*
bohrwurm *雑* 27. 235; 30. 116,
165

雑 27. 235, 30. 166

ツ、ガキ (watering-pot shell) *Gieß-*
kanne-muschel

オキナガヒ

E. mirabilis (は *Synapta* の食道に寄
生す)

シヤクシガヒ

} 白堊紀

ツノガヒ (tooth-shell)—*雑* 8. 314;
17. 231

第四綱 腹足類 GASTROPODA
=CEPHALOPHORA 有頭類

Veliger (幼)

第一目 前鰓類 Prosobranchia

第一亞目 扇舌類 Rhipidoglossa

a) 兩鰓類 Zygobranchia

* *Pleurotomaria*

* *Haliotis*

* *Fissurella*

Emarginula

Parmophorus

b) 單鰓類 Azygobranchia

Helicina

* *Nerita*

Neritina

* *Turbo*

Trochus

Umbonium

第二亞目 梁舌類 Docoglossa

* *Patella*

Acmaea

第三亞目 廣足類 Platypoda

* *Janthina*

Solarium

Scala

(snails) Schnecken 15.000 種以上と
知らる

Vorbertiemer

P. beyrichi

オキナエビス, セイロウホ(西王母),
チヤウシヤガヒ(長者貝) (millionaire-shell) 一巻 16. 354

P. salmiane コシダカオキナエビス

P. hirasei ベニオキナエビス

以上の外三種知らる化石にサイリ
ユーリヤン紀より 100 種以上あり
1856 年に現生の介殼発見, 軟
部は A. AGASSIZ 1871 年に発見

アハビ, トコフシ (abelone, ear-shell, ormer) Seeohr

クズヤガヒ(葛屋介) (key-hole limpet) Spaltnapffschnecke

スソキレガヒ

オトメガサ

ヤマキサゴ(鰓なし)

アマガヒ

カノコガヒ(淡水)

サマエ, ヤクワウガヒ, スガヒ (top-shell)

コシダカガヒ, カセガヒ

キサゴ

= *Helicoiniscus* ヨメガサ (limpet) Napffschnecke

ウノアシ

アサガホガヒ

クルマガヒ

イトカケガヒ

<i>Murex</i>	アツキガヒ, ホネガヒ <i>M. brandaris</i> , <i>M. trunculus</i> より紫色の染料をとれ り
<i>Urosalpinx</i>	(oyster-drill)
<i>Purpura</i>	レイシ(荔枝)
<i>Siphonalia</i>	ミガキホラ 卵囊はマンダユウホ、 ヅキなり
<i>Buccinum</i>	エツチユウバイ
* <i>Fusus</i>	ナガニシ 卵囊はケンバイホ、ヅキ (或はサカサホ、ヅキ)なり
<i>Hemifusus</i>	テンケンニシ 卵囊はウミホ、ヅキな り
<i>Cancellaria</i>	コロモガヒ 卵囊はナンキンホ、ヅ キ或はチヤンチヤンホ、ヅキなり
<i>Fulgur</i>	
<i>Eburna</i>	バイ一雜 27. 494 卵囊はヒョウト コホ、ヅキ(アソホ、ヅキ)なり
<i>Conus</i>	イモガヒ, ミナシガヒ
* <i>Natica</i>	ツメタガヒ, 卵塊をスナヂヤロン (sand-saucer, sand-collar) と云ふ
<i>Xenophora</i>	クマサカガヒ (carrier-shell)
<i>Hipponyx</i>	スロメガヒ
<i>Crepidula</i>	クルスガヒ
<i>Littorina</i>	タマキビ (periwinkle) 11ferfchuede
<i>Katayama</i>	<i>K. nosophora</i> ミヤイリガヒ 日本住 血吸蟲の中間宿主
<i>Melania</i>	カハニナ
* <i>Ampullaria</i>	乾期には空気を呼吸す
* <i>Cyclostoma</i>	陸棲
* <i>Paludina</i>	= <i>Viviparus</i> タニシ一葉 1. 83
<i>Harpa</i>	シヨツコウラ(蜀紅螺)
<i>Vermetus</i>	ヘビガヒ
<i>Terebra</i>	タケノコガヒ
<i>Strombus</i>	ソテガヒ Flügelſchnecke
<i>Pterocera</i>	スキジガヒ, クモガヒ
<i>Cassis</i>	タウカムシ
* <i>Cypraea</i>	コヤスカガヒ, タカラガヒ (cowry) Porzellanſchnecke
<i>Ovula</i>	ウミウサギ

**Dolium*

Pyrula

Triton

Rapana

寄生螺

Theca

Stilifer

Entoconcha

Entoxenos

Entocolax

第四亞目 異足類 Heteropoda

Atlanta

**Carinaria*

**Pterotrachea*

第二目 有肺類 Pulmonata

第一亞目 基眼類 Basommatophora

Siphonaria

Anchylus

**Limnaea*

Physa

Planorbis

Auricula

第二亞目 柄眼類 Stylommatophora

**Helix*

Eulota

Achatina

Arion

Limax

Philomycus

Succinia

ヤツシロガヒ, ウヅラガヒ, 唾腺より硫酸を出す

ビハガヒ

ホラガヒ Tritonshorn パウシウホフの卵嚢はトツクリホ、ヅキなり

アカニシ卵嚢はナギナタホ、ヅキあり

雑 24. 48, 30. 300, 339, 451, 490 ; 31. 20, 89, 113, 185

S. celebensis アカヒトテに寄生

Synapta に寄生

} ナメコに寄生

Rielfchneden

ザウクラゲ(象水母)

Lungenchneden

キクノハナガヒ

(river-limpet)

モノアラガヒ (pond-snail) Schlammchnecte *L. japonica*

左巻

ヒラマキガヒ *P. japonicus*

ナカミ、ガヒ

マヒマヒ (snail) *Euhadra*

E. peliomphala ミスゲマヒマヒ

E. quassita ヒダリマキマヒマヒ

= *Helictor*

} ナメクゲ (slug) Wegchnecte

P. bilineatus ナメクゲ(本邦産)

ナカモノアラガヒ (amber-snail) Bernsteinchnede *S. lauta*

Clausilia

Bulminus

**Onchidium*

第三目 後鰓類 Opisthobranchia

第一亞目 隱鰓類 Tectibranchia

Actaeon

Bulla

Philine

Hydatina

**Aplysia*

Dolabella

**Pleurobranchus*

Pleurobranchaea

第二亞目 翼足類 Pteropoda

無殻にて主として有殻翼足類を食ふ { **Pneumoderma*
**Clione*

Cymbulia

Limacina

Spiriolis

有殻にて植物を食ふ {

Creseis

Cleodora

Hyalea

第三亞目 裸鰓類 Nudibranchia

**Aeolis*

**Doris*

Chromodoris

Tethys

Melibe

**Phyllirhoë*

Pleurophyllidia

Elysia

キセルガヒ (左巻) *Echliopharynx*
nede C. japonica

卵大なり

O. verruculatum イソアハモチー雑
24. 20

Sinterkiemer

シヒノミガヒ

ナツメガヒ

キセロタ

ヤカダガヒ

アメフラシ (sea-hare) *Eechase*,
lepus marinus.

殻をタツナミガヒと云ふ

Flügelschnecken, Raderschnecken,

= *Clio* Wallfischhaas, Wallfischspeise
螺旋状の幼殻を失ひ二次的殻を有す

= *Clio*

= *Cavolinia* カメガヒー雑 27. 289

紀 35. 1; 雑 5. 163, 249. 610

ミノウミウシ

食用とせるハイドロゾアの刺胞を體に貯ふものあり

ウミウシ

イロウミウシー雑 4. 359, 5. 95

此鰓を *Vertumnus* と云ふ動物とせり

M. vexillifera (三崎産)

オナバウミウシ(新稱)

第五綱 頭足類 CEPHALOPODA

第一目 四鰓類 Tetrabranchia

Rodope

**Nautilus*

†*Endoceras*

*†*Ammonites*

†*Cyrtoceras*

第二目 二鰓類 Dibranchia

第一亞目 十脚類 Decapoda

a) 開眼類 Oegopsida

Architeuthis

**Spirula*

**Ommastrephes*

Cheiroteuthis

Watasenia

†*Belemnites*

b) 閉眼類 Myopsida

**Loligo*

**Sepia*

Sepiola

第二亞目 八脚類 Octopoda

**Polypus*

Eledone

Z. w. Z., 56

Rapffiber

アムガヒ (pearly nautilus)
此類キアンブリアン紀より現世まで産し 3000 種に及ぶ此類の化石をカラス石と云ひ三疊紀に多く出づ三種現存す一雜 27. 644

菊石又カホチヤイシ, サイリユールン紀より白堊紀まで 6000 種主として中古代のものなり

C. capuria 支那の上キアンブリアン紀より出づ 7 mm. 最古の頭足類 Proceed. U. S. Nat. Mus. 29

東北大學農科大學紀要 6.6

(giant squid) Ann. Report Comm. Fish and Fisheries 1879 年體二丈觸手三丈七尺

S. peroni—雜 22. 358; 幼者は 1910 年 'Michael Sars' にて Canary 島附近にて捕獲

スルメイカ

ミツイカ—雜 18. 109

*タレイカ *W. scintillans* 東北大學農科大學紀要 6.4

箭石三疊紀よりイオシオン期此類は近代頭足類の先祖なり

葉 8. 587

ハリイカ (squid)—雜 29. 210, 241

ハリイカ (cuttle-fish) 2intenfish

= *Octopus*

タコ (devil-fish, poulpe) *P. octopus*

マダコ *P. membranaceus* イロダ

コ *P. punctatus* ミツダコ

シヤカウダコ

* *Argonauta*

ヌコブネ, アフヒガヒ (paper nautilus) Papierboot od. Papiernautilus
 一葉 3. 174 十三種あり本邦産のは四種 *A. argo* 隆起長く細きもの
A. hians 淡色にして滑なるもの
A. oweni 暗色にて滑ならざるもの

本邦産の頭足類一巻 2. 479, 582; 3. 23, 60, 144, 239, 292, 324; 7. 211;
 (紀 8. 2) 18. 109; 21. 316, 423, 481, 22. 363; 25. 73, 247, 397;
 葉 4. 85

第十門 圓形動物
(NEMATHELMINTHES)

- 第一綱 線蟲類 (NEMATODA)
第二綱 ハリガネ蟲類 (GORDIACEA)
第三綱 鈎頭類 (ACANTHOCEPHALI)
第一綱 線蟲類 NEMATODA

* *Ascaris*

* *Rhabdonema*

Rhabdites

Strongyloides

* *Oxyuris*

* *Eustrongylus*

Trichostrongylus

* *Ancylostoma*

Necator

Syngamus

Schlerostomum

* *Trichocephalus*

Trichinella

マムシ類
Blindwürmer

Fadenwürmer
(thread-worms) 雜 20. 359; 21.
255, 321

蛔蟲 (round-worm) Spulwurm
A. lumbricoides 人, 豚, 牛 雜 29.
301; 30. 1

A. magalocephala 馬

A. mystax 犬, 猫

= *Angiostrongylus* 寄生

R. nigrovenosum 蛙肺に寄生雌雄同
體 protandric

(自由生活) *R. nigrovenosa* 蛙糞に住
む *R. hominis* 雜 27. 117

S. stercoraris = *S. intestinalis* 雜
26. 505; 靈 8. 459

蟯蟲 (メウチウ) (pin-worm)
Spitzenchwanz od. Madenwurm

O. vermicularis

O. equi

E. gigas = *Strongylus gigas* 腎蟲 (犬,
狼稀に人)

T. instabilis = *Strongylus subtilis* 雜
7 (歐) 155

A. duodenale 十二指腸蟲

(hook-worm) Spatenwurm

= *Dochmius duodenale* 雜 26. 506

N. americanus アメリカ十二指腸蟲
鳥に寄生し "gapes" 病を起す

T. trichiurus = *T. dispar* 鞭蟲 (whip-
worm, hair-neck) Spießwurm

T. affinis 反芻類の盲腸

= *Trichina* "Trichinosis" を起す *T.*
spiralis 旋毛蟲 1835 PAGET 豚肉
中に發見し其師 OWEN 記載す

**Filaria*

F. bancrofti = *mansoni* *F. sanguinis*
hominis (幼蟲) 住血絲狀蟲

F. immitis 犬の心臓

F. medinensis キニヤ蟲 (Medina or
Guinea worm) 幼蟲はケンミチン
コに寄生す雄知られず

F. anguillae ウナギの眼に寄生す
(hair-worm 又は rain-worm) 雨と
共に天より降りたりと思はれし
もの幼蟲は昆蟲に寄生し成蟲は
濕土に住む

Mermis

Heterakis

Sphaerularia

Anguillula

S. bombi Hummelälchen

A. accii (vineger-eel) Effigälchen ob.
Reisterälchen

Tylenchus

Heterodera

} 植物に寄生す Weizenälchen

H. radicicola—雜 29. 129, 253,
296, 331, 431

第二綱 ハリガネムシ類 GORDIACEA
= NEMATOMORPHA

**Gordius*

ハリガネムシ (hair-worm, horse-
hair-worm) Eaitenwurm

Paragordiu

Nectonema

(海産)

第三綱 鈎頭類 ACANTHOCEPHALI

**Echinorhynchus*

Straber 排泄器に纖毛あり

E. gigas 豚

E. hominis 人

E. polymorphus 鳥

E. proteus 魚

第十一門 節足動物 (ARTHROPODA)

- 第一綱 甲殻類 (CRUSTACEA)
- 第二綱 無角類 (ACERATA)
- 第三綱 軟脚類 (MALACOPODA)
- 第四綱 昆蟲類 (INSECTA)
- 第五綱 馬陸類 (DIPLOPODA)

第一綱 甲殻類 CRUSTACEA

第一亞綱 切甲類 Entomostraca

Nauplius (幼)

Metanauplius (幼)

第一目 三葉蟲類 Trilobita

Protaspis (幼)

- †*Olenellus*
- †*Dalmanites*
- †*Paradoxides*
- †*Triarthrus*
- †*Phillipsia*

第二目 葉脚類 Phyllopoda

第一亞目 鰓脚類 Branchiopoda

- **Apus*
- Lepidurus*
- **Branchipus*

- **Artemia*
- Estheria*
- Limnadia*
- Limnetis*

Glieberfüßler Q. J. 47.

Krebse od. Krebstiere

1785年に O. F. H. MÜLLER ケンミヤ
ンコの幼蟲を成蟲と思ひ PLINY
の介に用ひし名を附け Nauplius
と呼びたり CLAUS 1858年に現今
の意味に用ひ

1700種キヤンブリヤン紀に 60種
下サイリユーリヤン紀に全盛石
炭紀に六種 マーミヤン紀に滅す
1849年に BARRANDE 變態を見
る

Am. Geologist 16 (BEECHER 1895)

BEECHER 1893年に脚を見る
マーミヤン紀の最後の屬

Blattfüßler
雜 6. 441; 7. 93, 60 7 (歌) 80, 137,
147; 8 (歌) 1, 55

カブトエビ

ホウネンギヨ(豐年魚)(fairy-shrimp)
一雜 7 (歌) 98 本邦産の (*Bran-*
chinella kugenumensis たり)

(brine shrimp)

第二亞目 枝角類 Cladocera

- * *Daphnia*
- Moina*
- Simocephalus*
- Bosmina*
- Bosmiopsis*
- * *Leptodora*
- * *Evadne*
- Penilia*
- Polyphemus*
- Pontella*
- Bythotrephes*

(water-fleas) Wasserflöhe
ミザンコ

葉 4. 123
ノロ *L. kindtii*—雜 6. 81; 23. 589
エホシミザンコ
P. schumackeri (三崎産)

P. mediterranea (は空中を飛ぶ)

第三目 介蟲類 Ostracoda

- * *Cypris*
- Pontocypris*
- Cythere*
- Pyrocypris*
- * *Cypridina*
-
- Giantocypris*

カヒムシ類 Muscheltreibe—雜 24. 488, 609; 25. 1

P. monstrosa 精子 7 mm. (體長の十倍)に達す

P. japonica
ウミホタル, アンケラ (房州方言)
C. hilgendorfi—雜 9. 86
長さ 23 mm. Z. w. Z. 92

第四目 ^{ゼウ} 橈脚類 Copepoda

第一亞目 真正橈脚類 Eucopepoda

- * *Calanus*
- Acartia*
- Paracalanus*
- Oithona*
- Clausocalanus*
- Oncaea*
- Eucalanus*
- Corycaeus*
- * *Cyclops*
- *Canthocamptus*
- Diaptomus*
- Notodelphys*
- Ascidicola*

Ruberfüßler
北海道高島 水産試験所報告 1; 雜 26. 532

ケンミザンコ—雜 24. 71; 葉 8. 97

} *に寄生す

<i>Sapphirina</i>	
第二亞目 寄生類 Parasitica	
=Siphonostomata 管口類	
Copepodid (幼)	
* <i>Lernaea</i>	
* <i>Penella</i>	
<i>Caligus</i>	
<i>Cecrops</i>	マンバウノテフ一雜 10. 58
* <i>Condracanthus</i>	
<i>Lernaeocera</i>	雜 27. 458 東京産のフナに寄生するもの
<i>Achtheres</i>	
<i>Anchorella</i>	
<i>Tracheliastes</i>	
<i>Lernanthropus</i>	雜 10. 82, 120, 148, 215, 254, 337
<i>Orihagoricola</i>	= <i>Laemargus O. muricata</i> 雜 10. 90; 28. 111 マンバウに寄生す
<i>Philichthys</i>	雌は <i>Xiphias</i> (メカサキ) の頭骨中に寄生す
<i>Splanchnotrophus</i>	裸鰓類の體腔に寄生す一雜 7. 57
第三亞目 鰓尾類 Branchiura	<i>Siemensschwanz</i>
* <i>Argulus</i>	<i>A. japonica</i> テフ (carp-louse) <i>Sarpfenlaus</i> 水産講習所試験報告 9 卷 7 册
<i>Gyropeltis</i>	ウミテフ
第五目 蔓脚類 Cirripedia	<i>Rantenfüßler</i>
Cypris-stage (幼)	1767 年に SLABBER ツメガヒの nauplius を見たり 1830 年に J. V. THOMPSON Cypris 形幼蟲を發見し始めて甲殻類に入る一雜 29. 254; 9. 377
"Pupa" (幼)	
第一亞目 眞正蔓脚類 Eucirripedia	
* <i>Lepas</i>	<i>L. anatifera</i>
<i>Anelasma</i>	ツメガヒ, エホシガヒ (goose-barnacle) <i>Entenmuschel</i>
<i>Conchoderma</i>	
<i>Alepas</i>	クラゲに寄生す

**Balanus*

Tetraclita

Acasta

Coronula

**Mitella*

Scalpellum

Pocillasma

第二亞目 根頭類 Rhizocephala

**Sacculina*

**Peltogaster*

Thompsonia

Alcippe

Proteolepas

Laura

Dendrogaster

第二亞綱 軟甲類 Malacostraca¹

Protozoëa (幼)

Zoëa (幼)

Mysis stage (幼)

Megalopa (幼)

第一目 狹甲類 Leptostraca

=Phyllocarida ^{コノハエビ} 木葉蝦類

**Nebalia*

第二目 アナスピデス類 Anaspidacea

=Syncarida 原蝦類

=Anomostraca 異形類

**Anaspides*

フヤツボ, イハガキ (barnacle, acorn-shell) Eerpede

カマクドリ(三崎方言) *T. porosa*.

海綿中に寄生す

クマラに寄生す

カメノテ *M. mitella* = *Polliceps*

カメノテ

P. kaempferi *カアシガニに寄生す

Burjelfreife

T. japonica—雑 23. 719; 29. 428
(ミヤコに寄生するもの)

DARWIN の発見後見たる人なし

アリストートルは Ostracodermata
(軟體動物)の殻に對して軟ければ軟
甲類とせり

METSCHNIKOFF 1865 年に發生を研
究し軟甲類に入る

雑 7. 49, 249; 7 (歐) 37

淡水産 Q. J. 62; 雑 31, 175

A. tasmanica 38 mm. 1892 年 *スマ
ニアにて發見 Trans. Roy. Soc.
Eding. 38; Trans. Lin. Soc. Zool. 6

¹ 第一目より第六目までを胸甲類 (Thoracostraca) 又は柄眼類 (Podophthalma) と云ひ
第七目より第九目までを節甲類 (Arthrostraca) 又は座眼類 (Edriophthalma) といふ。

- Paranaspides*
Koonunga
- Bathynella*
- † *Uronectes*
† *Praeanaspides*
- 第三目 裂脚類 Schizopoda
* *Mysis*
Neomysis
- * *Euphausia*
Calytopis (幼)
- Lophogaster*
- 第四目 口脚類 Stomatopoda
Erichthoidina (幼)
Erichthus (幼)
= Pseudozoëa
Alima (幼)
- * *Squilla*
- Gonodactylus*
- 第五目 十脚類 Decapoda
- 目 長尾類 Macrura
- * *Panulirus*
- Palinurus*
Naupliosoma (幼)
Phyllosoma (幼)
Puerulus (幼)
- Homarus*
- Proc. Roy. Soc. (B) 80
Victorian Naturalist 24; Ann. Mag. Nat. Hist (8) 1 長さ 9 mm. メルホレンにて発見
Journ. Lin. Soc. 27; Z. A. 44; 1 mm. プラークにて発見 Z. Jarb. Geog. u. Biol 40 (退化せるもの)
= *Gamponyx* 石炭紀—パーミヤン 石炭紀(英國)
Spaltfüßer—雑 22. 162; 葉 7. 247
アミ (opossum-shrimp)
N. japonica (東京灣産)—雑 22. 245, 325
N. intermedia hinumaensis 淡水産
Anisomysis ijimai (三崎産)
卵囊なし
- Maulfüßer—雑 20. 505; 21. 54, 166; 22. 531; 23. 173; 25. 69, 26. 459; 葉 7. 139, 235
シヤコ (mantis-shrimp) Leuschreden- trebs *S. affinis*.
- エビ類—雑 8. 372; 9. 14, 483; 10. 178; 22. 150; 葉 5. 163
イセエビ水産講習所試験報告 1・1 雑 29. 259
(spiny lobster) Languste
雑 26. 273; 29. 215
(glass-crab) Loricata の mysis stage たりイセエビのものは第一顎脚退化せり
= *Astacus* (lobster) Gunner 雑 28. 349 最大なほる 34 mm; 青色のもの種にあり

<i>Scyllarus</i>	Bärenkrebs セミエビ
<i>Ibacus</i>	ウチハエビ
<i>Penaeus</i>	クルマエビ
<i>Penaeopsis</i>	シバエビ 理學界 12. 8
<i>Palaemon</i>	テナガエビ Crevette—雑 26. 183 (prawn)
* <i>Palaemonites</i>	<i>P. varians</i>
<i>Acetes</i>	アキアミ
<i>Sergestes</i>	サクラエビ <i>S. prehensilis</i> —雑 27. 622; 28. 485 (發生) 彙 9. 299 (發 光器)
<i>Spongicola</i>	<i>S. venusta</i> カイラウドウケツに住む (devil-shrimp) 最後の胸脚を缺く
* <i>Lucifer</i>	エビシヤコ Garneele
<i>Crangon</i>	= <i>Potamobius</i> (ザリガニ (cray-fish))
* <i>Astacus</i>	Flußkrebs
<i>Cambarus</i>	
<i>Atyephyra</i>	= <i>Atyaephyra</i> = <i>Xiphocaris</i> × × エビ
<i>Alpheus</i>	テナゴエビ
<i>Nephrops</i>	アカシヤコ
<i>Hippolites</i>	モエビ
<i>Gebia</i>	アナシヤコ
Anomura 歪尾類	
* <i>Eupagurus</i>	ヤドカリ (hermit-crab) Einsiedler- krebs ob. Bernhardskrebs 雑 23. 368, 404, 548, 591; 26. 60, 109, 181, 245, 469, 497; 27. 131 彙 8. 355
Glaucothoe (幼)	<i>P. arrusor</i> と <i>Adamsia rondeletti</i> と 共棲す(三崎にて)
<i>Coenobita</i>	
<i>Birgus</i>	<i>B. latro</i> マツクワン (palm-crab)— 雑 1. 76.
<i>Paralithodes</i>	マラバガニ—雑 24. 1
<i>Galathea</i>	Sandkrebs
<i>Hippa</i>	(china-crab)
<i>Porcellana</i>	

第二亞目 短尾類 Brachiura

- **Neptunus*
- Dromia*
- Calappa*
- Maja*
- Chlorinodes*
- Carcinus*
- Cancer*
- **Macrocheira*
- Chionectes*
- Dorippe*
- Ocypode*
- Eriocheir*
- Sesarma*

- Potamon*
- Melia*

- Gelasimus*
- Gecarcinus*
- Pinnotheres*

第六目 キューマ類 Cumacea

- **Diastylis*
- Cuma*

第七目 タナイス類 Tanaidacea

- =Chelifera 有鉤類
- =Anisopoda

- **Tanais*
- Apseudes*

カニ類 (crabs) Strabben
 雑 4 52; 14. 3, 40, 83, 149, 166,
 213, 241, 284, 359, 397, 430; 15.
 13, 44, 177, 234, 356, 431; 16. 16,
 67, 370, 422; 17. 80, 199; 30. 192
 Zool. Jahrb. 1897, 92, 93
 水産試験所報告 9. 2

=*Lapa* ヲタリガニ, ガザミ

マンゲユウガニ

C. longispinus 背に海藻等をつく

Taschencrabs

M. kaempferi タカアマガニ

C. pharangium ツツイガニ

ヘイケガニ

イソガニ Sandkrabbe

マワヅガニ *E. japonicus*

=*Grapus*

S. haematocheir ベン
 ケイガニ } 肺二口蟲の中
 27. 457, 524

S. dehaani

=*Telphusa* サハガニ

M. tessellata 左右の缺にイソギンチヤクなもつ

シホマネキ, テンボウガニ (fiddler-crab)

Sandkrabbe

カクレガニ (oyster-crab, pea-crab)
Muschelwächter

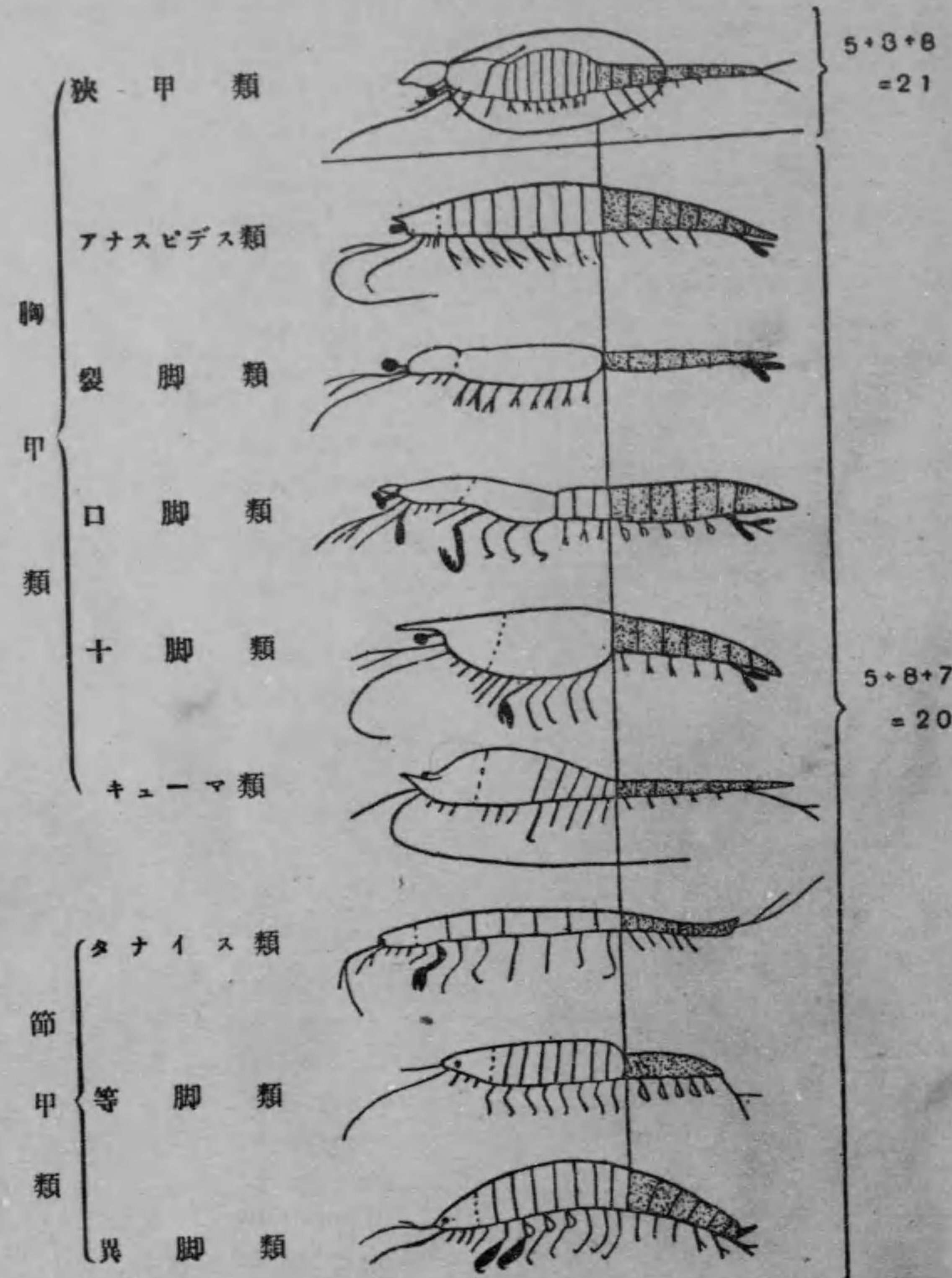
雑 21. 429

Echeerenaffeln
Wien Arbeiten 5, 7 (海産)

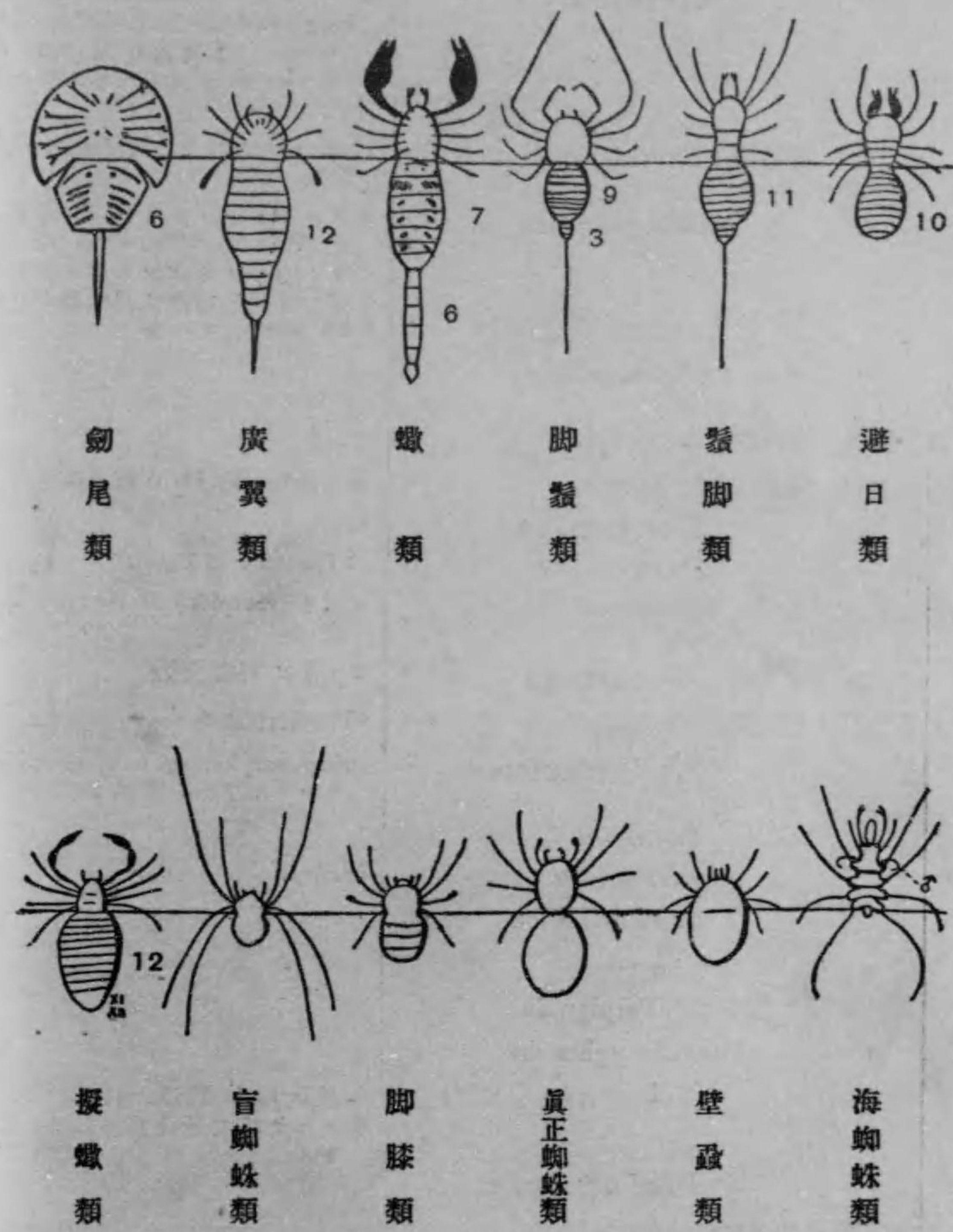
タナイスとはロシアの Don 河の古名

	<i>Typhlotanais</i>	北太平洋産
	<i>Bathytanais</i>	北太平洋産
第八目 等脚類	Isopoda	アッフェル
	* <i>Oniscus</i>	ウラゲムシ (sow-bug) Mauerassel
	* <i>Ligia</i>	<i>L. exotica</i> = <i>Ligyda</i> フナムシ—雑 23. 270; 27. 47
	<i>Porcellio</i>	Kellerassel, Körnerassel
	<i>Tylos</i>	<i>T. granulatus</i> タンゴムシ (pill-bug) Hollaassel
	<i>Idotea</i>	Slappenassel—雑 12. 147
	<i>Limnoria</i>	キクヒムシ (gribble) Bohraffel
	<i>Aega</i>	(salve-bug) 漁夫時に膏薬となすよ り此名あり
	<i>Sphaeroma</i>	雑 28. 182
	<i>Asellus</i>	ミヅムシ Wasserassel <i>A. hilgendorffi</i> (本邦産)
	<i>Cymothoa</i>	タイノエ Fischassel 雌雄同体なり
	<i>Bathynomus</i>	<i>B. doederleini</i> Mem. Mus. Zool. 27. 2
	<i>Serolis</i>	
	* <i>Bopyrus</i>	クルマエビに寄生す
	<i>Parapenaeon</i>	
	<i>Gyge</i>	ヤドカリに寄生す 雑 8. 519
	<i>Athelges</i>	<i>Sacculina</i> に寄生す
	<i>Cryptoniscus</i>	
	<i>Entoniscus</i>	
	<i>Gnathia</i>	
第九目 異脚類	Amphipoda	Flohflebe—雑 13. 146; 25. 421
	<i>Chelura</i>	木に喰ひ入る
	* <i>Gammarus</i>	トビムシ (beach-flea) Flohflebs
	<i>Orchestia</i>	
	* <i>Phronima</i>	タルマシ
	<i>Hyperia</i>	<i>Cyanea</i> に附着す
	* <i>Caprella</i>	ウレカラ
	<i>Niphargus</i>	<i>N. puteanus</i> 盲目
	<i>Cyamus</i>	(whale-louse) Walfischlaus—雑 27. 157

軟甲類各目の略圖



無角類各目の略圖



第二綱 無角類 ACERATA

第一亞綱 大甲類 Gigantostaca

第一目 劍尾類 Xiphosura

**Limulus*

第二目 廣翼類 Eurypterida

*†*Eurypterus*

†*Stylonurus*

第二亞綱 ^{チチユ} 蜘蛛類 Arachnida

第一目 蠍類 Scorpionida

Euscorpius

Pandinus

**Buthus*

Hormurus

第二目 脚鬚類 Pedipalpi

**Thelyphonus*

Typopeltis

**Phrynus*

Schizonotus

鬚脚類 Palpigrada

=Microthelyphonida

**Koenenia*

Prokoenenia

第三目 避日類 Solpugida

=Solifuga

**Solpuga*

Q. J. 48

Schwertfchwänze

カブトガニ (horse-shoe crab or king crab). *Moluffentrebs* L. *longispina* 日本及び南洋産 L. *polyphemus* 米國産八年にて全成す

14 屬 130 種主として淡水産, 稀に海産

キアンブリヤン紀よりパーミアン紀 WALCOTT は *Beltina* をモンタナ州のアルゴンキヤン紀より得たり 25 種位六尺に達す一雜 29. 156

Scorpione—雜 18. 5 約三百種

P. imperator 175 mm. (アフリカ産)

サソリ (scorpion) *B. martensi* 東洋産

ヤマサソリ (琉球産)

Geißelstorpione

(whip-scorpion or scorpion-spider) サソリモドキ—雜 6. 287

=*Phrynichus*

=*Eukoenenia* 1885 年に GRASSI カタニヤにて發見長さ二ミリメートル

Walzenspinnen

Galeodes

第四目 ^{ギケツ} 擬蠍類 *Pseudoscorpia*
=Chernitida

CheliferChernes*

第五目 ^{メクラグモ} 盲蜘蛛類 *Phalangida*
=Opiliones メクラグモ類

PhalangiumGagrella*

Podogona 脚膝類
=Meridogastra 節腹類
=Ricinulei

*Cryptostemma**Cryptocellus*

第六目 真正蜘蛛類 *Araneina*

第一亞目 四肺類 *Tetrapneumones*

*Atypus***Mygale***Cteniza*

第二亞目 二肺類 *Dipneumones*

Lycosa*Epeira**Nephila**Argiope**Gasteracantha**Selenops**Salticus**Myrmarachne**Tegenaria*

Afterforpione—雜 20. 327

カニムシ, アトビサリ (book-crab)
Bücherforpion

盲なり

Afterspinnen—雜 24. 657 (Zool.
Jahrb. Syst. 31. 5)

(harvestman, daddy-long-legs) We-
berknächt, Ranter *Liobunum japoni-*
cum Z.A. 44

ザトウムシ, メクラグモ

1833年に発見長さ5-12ミリメ-
ートル盲目, 腹部に四環節見ゆ

中央アフリカ産

ブラジル産

(spiders) Spinnen

ヤクモ

=*Avicularia* トリトリグモ (bird-
spider) Vogelspinne

トダテグモ (trapdoor-spider) *Kishi-*
noyueus (東京産) Tapetier-spinne—
雜 1. 154

フクログモ Wolfspinne

L. tarantula Tarantel

=*Araneus* オニグモ Kreuzspinne

クモラウグモ

サンバサウグモ

トググモ

アハセ(給)グモ

ハハトリグモ (jumping spider) Auf-
springer, Hüpfspinne *Menemerus*

アリグモ

タナグモ Hausspinne

第七目 ^{ヘキシフ} 壁蝨類 Acarina
Argyroneta
Latrodectus
Liphistius
Hydrachna
Atax
 **Trombidium*

Leptus

Argas
 **Ixodes*
Psoropus

Margaropus
Gamasus
Dermanyssus

Tyroglyphus
 **Sarcoptes*

Pediculoides
Tyloglyphus
 **Demodex*

Eryophyes
Phyllocoptes
 第八目 舌形蟲類 Linguatulida
 **Pentastoma*

 緩歩類 Tardigrada

ミヅアモ Wasser Spinne od. Silber-
 spinne
 有毒 black-widow spider
 原的
 ダニ類 (mites) Milben
 } Wassermilben
 Sammetmilbe 幼蟲を *Leptus* と云
 ふ。 *L. autumnalis* (harvest-mite)
T. holosericeum の幼蟲
L. akamushi アカムシ, ケダニ一雜
 29. 300, 379; 細菌學雜誌 253,
 254
 Saumjede
 ダニ (tick) Jede od. Soljbed
P. ovis (sheep-scabmite)
P. annulatus (cattle-tick)

 (beetle-mite) Käfermilbe
D. gallinae (chicken-mite) Vogel-
 milbe
 (cheese-mite) Käsemilbe
S. scabiei ヒゼンノダニ (疥癬蟲)
 (itch-mite) Krägmilbe
 蠶業試験所報告 2.3
 雜 29. 377; 31. 66
D. folliculorum マウナウチユウ(毛囊
 蟲) Haarbalgmilbe
 } Tetrapoda と名つくる類にて樹膠
 } に寄生す
 シタムシ類 Zungenwürmer
P. taenioides
 = *Linguatula rhinaria* 二對の鉤を口
 と思ひ五口蟲と名つけたり
P. monilliforme 之は *Python* の肺に
 寄生す 70 mm. 幼蟲は嚙齒類の
 肝に寄生して *Procephalus constri-*
ctus と云ふ
 Bärtierchen od. Wasserbärchen

**Macrobotes*

Echiniscus

海蜘蛛類 Pycnogonida

=Pantopoda 悉脚類

=Podosomata 脚體類

**Nymphon*

Lecythorhynchus

Pycnogonum

Ammonothea

Colossendeis

第三綱 軟脚類 MALACOPODA

=PROTOTRACHEATA 原氣管類

=ONYCHOPHORA 有鉤類

**Peripatus*

Eoperipatus

Peripatoides

Ooperipatus

Opisthopatus

Paraperipatus

Peripatopsis

第四綱 昆蟲類 INSECTA

第一亞綱 唇脚類 Chilopoda

=Syngnatha 癒類類

Lithobius

Geophilus

**Scolopendra*

Odocryptops

**Scutigera*

第二亞綱 六脚類 Hexapoda

larva (larvae 複数) 幼蟲

pupa (pupae 複数) 蛹

imago (imagines 複数) 成蟲

ワマムシ (water-bear, bear-animal-cule)

トゲワマムシ

Spinnweb

雜 11. 195 (Zool. Jahrb. Syst. 1891)

ワシケモ

L. hilgendorfi (三崎産)

C. gigas 太平洋深海産脚數寸

発見されしときは *Nereis* と思ふ、
GULDING 始めて記載シナメタガと思ふ (1825 年) 1873 年に MOSSELEY が喜望峰にて卵を見節足動物たるを知れり Ann. d. Scien. Nat. 9. 2,5; Q. J. 28 五十種あり

カギムシ

アメリカ熱帯アフリカ

インドメレーシア

オーストロアシア

オーストロアシア

オーストロアシア

ニューブリテン

チリ、南アフリカ

馬陸類と合して多足類 (Myriapoda) Tausendfüßler と云ふ一雜 24. 105 Q. J. 47 (運動法)

ムカデ (centipede)

アムカデ

ゲゲゲ (house-centipede) *Epinenaffel* *Therenopoda chinifera*

昆蟲 (insects) Insekten と通常稱ふるもの一石炭紀に初めて見らる

第一目 無翅類 Apterygota
=Apterygnea

第一亞目 彈尾類 Thysanura

**Lepisma*

**Campodea*
Machilis

—————
Anajapyx

**Japyx*

第二亞目 ^{ハネムシ}跳蟲類 Collembola

=Entognatha

**Podura*

Hypogastrura

Desoria

Degeeria

—————
Myrientomata

Eosentomon

Acerentomon

Acerentulus

第二目 原翅類 Archiptera

=Pseudoneuroptera 擬脈翅類

**Termes*

Calotermes

Perla

**Ephemera*

Orthetrum

**Libellula*

Aeschna

Urinsekten

bristle-tails)

シニ (silver-fish, silver-moth) Süder-
gaft od. Silberfischchen

ナガハネムシ腹に脚あり

イシノミ

(spring-tails) 雜 28. 451, 494; 29.
40, 73

ハネムシ

ハネムシ

=*Isotoma* (glacier-flea) Gletscherfloh

=*Entomobrya* (snow-flea) Schneefloh

Urfügler

シロアリ (white ant) weiße Ameise
Leucotermis speratus ヤマトシロ
アリ, *Coptotermes* イヘシロアリ—
雜 24. 493, 27. 349; 葉 s. 107,
553: 紀 35. 7

サツマシロアリ

カハゲラ (stone-fly) Afterfrühlings-
fliege

カゲロフ (may-fly, shad-fly, day-
fly) Eintagefliege

シホカラトンボ (雄), ムギワラトン
ボ (雌)

<i>Anax</i>	ヤンマ
<i>Agrion</i>	トウスミトンホ (damsel-fly)
<i>Catopteryx</i>	オハクロトンホ トンホ類 (dragon-flies) Wasserjungfer fern-雑 25. 307, 439 マイコムシ又はヤゴ(幼)
<i>Stenopsocus</i>	チヤヌテムシ-雑 4. 341
<i>Psocus</i>	アブラムシモドキ Holzlaus
<i>Atropos</i>	(book-louse) Bücherlaus
<i>Troctes</i>	ヨナムシ
Mallophaga	食毛類
<i>Trichodectes</i>	ケダラミ <i>T. scalaris</i> (cattle-louse) <i>T. canis</i> (dog-louse)
<i>Philopterus</i>	ニハトリハムシ
<i>Liotheus</i>	<i>M. pallidum</i> (hen-louse)
<i>Menopon</i>	
<i>Embia</i>	
<i>Oligotoma</i>	
<i>Thrips</i>	Physopoda 又は Thysanoptera と 云ふ類に属す-雑 3. 1
<i>Phraeothrips</i>	ムクゲムシ
<i>Melanothrips</i>	アザミウマ
第三目 直翅類 Orthoptera	Geradflügler
<i>Locusta</i>	Laubhuschrecke
* <i>Acridium</i>	バッタ (locust) Feldheuschrecke <i>Pachy- tylus</i> トノサマバッタ
<i>Oxya</i>	イナゴ
<i>Gryllus</i>	コホギ (cricket) Hausheimgchen
* <i>Gryllotalpa</i>	クラ (mole-cricket) Berre od. Maulwurfsgrille
<i>Blatta</i>	(cockroach, 俗に Croton bug) Rüchenschabe <i>Stylopyga</i> (普通の属)
<i>Periplaneta</i>	ゴキブリ, アブラムシ
* <i>Forficula</i>	ハサミムシ (earwig) Ohrwürm <i>Anisolabis</i> (普通の属)
* <i>Mantis</i>	カマキリ (praying mantis, rear- horse) Fangheuschrecke, Gottesan- beterin-雑 7. 291 <i>Tenodera aridifolia</i> (日本産)

	<i>Phasma</i>	ヌケノフシ, ナ・フシ (walking stick) Gespenstheuschrecke—葉 7. 191 <i>Phraortes</i> (普通の屬)
	<i>Bacillus</i>	
	<i>Phyllium</i>	コノハムシ (green-leaf insect)—雜 2, 458
	<i>Madasumma</i>	アナムツムシ
第四目	脈翅類 Neuroptera	Netzflügler
	<i>Sisyra</i>	幼虫は淡水海綿中に棲息す
	* <i>Chrysopa</i>	ウサカゲロフ (lacewing-fly, golden-eye, aphid-lion) Florfliege 札幌博物學會報 5. 1 北海道農事試験場報告 7. 卵はウドンゲ
	* <i>Myrmeleon</i>	ウスバカゲロフ (ant-lion, doodle-bug) Ameisenlöwe アリゲモク(幼)—雜 25. 527; 26. 249
	<i>Corydalis</i>	ヘビトンボ (dobson-fly) 幼 (hellgrammite, dobson)
	<i>Chauloides</i>	<i>C. magotaro</i> ヘビトンボモドキ, マゴタラウムシ(幼)
	<i>Panorpa</i>	シリアゲムシ (scorpion-fly) Skorpion-ob. Schnabelfliege—雜 22. 563 農科大學紀要 4. 6. Mecoptera なる類に入る
	<i>Mantispa</i>	カマキリモドキ—雜 22. 533; 24. 332, 558; 葉 8. 229
	* <i>Phryganea</i>	トビケラ (caddice-fly, caddis-fly), イサゴムシ (caddice-worm) (幼) Röcher ob. Frühlingssfliege—雜 25. 263 Trichoptera なる類に入る石にて造れる巢を人形石 (周防錦帯橋)と云ふ
第五目	鱗翅類 Strepsiptera	Säberflügler
	* <i>Xenos</i>	雜 6. 444; 8. 281, 323, 374
	<i>Stylops</i>	
	<i>Elenchus</i>	
第六目	鞘翅類 Coleoptera	甲蟲 (beetles) Käfer
	Grub (幼)	
	<i>Melolontha</i>	(June beetle, May beetle) Maitäfer ヤムシ(幼)
	* <i>Lampyris</i>	*ヌル (fire-fly, glow worm 無翅の蠅) Johanniswurm, Leuchtäfer—雜 12. 83; 16. 1

Carabus
Aleuchus

Cicindela
Calosoma
Brachynus
Silpha
Gyrinus

Damaster

***Dytiscus**

Hydrophilus
Coccinella

Curculio
Balaninus

Hylesinus

***Leptinotarsa**

Melanotus

Calandra

Dermestes
Anthrenus

Chrysochroa

Psephenus

Larciola parva ヘイケホタル, ヒメホタル

L. vitticollis ケンウホタル, オホホタル

Pyrocoelia atripennis シウケイ(秋螢)
雌は無翅なり
(ground-beetle)

=*Scarabaeus A. sacer* (scarab, tumble-bug) *Gymnopleurus moropus*
ヒロタクロコガネ雜 28. 54

ミチチシヘ (tiger-beetle)

Buppenräuber
(bombardier-beetle) Bombardierkäfer
(carrion-beetle) Mistkäfer

ミツスマシ (whirligig-beetle) Tummelkäfer

D. blaptoides マヒマヒカブリ, マヒマヒを食し其殻を頭上は荷ひ歩むことあり

ゲンゴウウツムシ (diving-beetle, predaceous water-beetle) water-tiger (幼)

ガムシ (water scavenger-beetle)

テンタクムシ (lady-bird) Marienkäfer 肢に腺ありて黄色液を出す血に非ず

ザウムシ (weevil, snout-beetle)

B. dentipes クリシギザウムシ, クリムシ(幼)

センコウチウ (穿孔蟲) engraver-beetle

=*Doryphora* (Colorado potato-beetle) コロラドムシ

コメツキムシ (click-beetle, snapping-bug, flapover-bug) (幼—wire-worm)

コクザウ *C. oryzae* var. *minor* (bill-bug, granary-weevil, rice-weevil)

カツアシムシ

マルカツアシムシ (carpet-beetle, buffalo-moth)

タマムシ (metallic wood-borer)

普通雌と云ふ(イシバタタムシ (*Chalcophora*) たり)

(water-penny 幼)

Lucanus
Tenebrio

Cerambyx

Staphylinus

**Lytta*

Meloë

第七目 膜翅類 Hymenoptera

**Apis*

Bombus

Vespa

Ichneumon

Eurobracon

Polistes

Calcis

Encyrtus

Ageniaspis

Polygnotus

Litomastix

Ammophila

Adynerus

Eumenes

Agriotypus

**Formica*

Myrmica

Polgergus

Myrmecocystus

Camponotus

Polyarchis

Oecophilla

ミヤマクハガタムシ (stag-beetle)
(darkling beetle) Mehlkäfer (幼-
meal-worm)

カミキリムシ (long horned wood-
borer) Bodkäfer

ハネカクシ (rove-beetle, short wing-
ed scavenger) Sturzbeflügler

= *Cantharis* ハンメウ (芫青) (Spanish
fly) Spanische Fliege *L. vesicatoria*
マメハンメウ *Epicanta gorhami*

ツチハンメウ (oil-bottle, blister-
beetle) Ölkäfer

Sauflügler od. Immen

A. mellifica ミツバチ (honey-bee)
Honigbiene

マルバチ (bumble-bee) Hummel

スハメバチ (hornet) Hornisse *V.*
japonica クロスハメバチの巢に
Motocus abdominalis (クロオホハ
チノミ) なる甲虫住む

ヒメバチ (ichneumon-fly)

バヒボウ (馬尾蜂)

アシナガバチ (brown wasp)

コバチ (calcis-fly)

一卵多胚生殖かたす

シガバチ (digger-wasp)

ドロバチ

トツクリバチ *E. pomiformis*

ミツバチ (イサゴムシの巢中に蛹と
なる) 雑 29. 281

アリ (ant) Ameise—雑 22. 416; 23.
249; 24. 121

M. molefasciens (agricultural ant)

M. melliger ミツアリ (honey-ant)

オホアリ

幼蟲を糞となして葉を綴る

*Atta**Blastophaga*

第八目 有翅類 Rhynchota

第一亞目 半翅類 Hemiptera

=Heteroptera 異翅類

*Belostoma**Corixa**Notonecta**Nepa**Ranatra**Hydrometra**Halobates**Halobatodes**Pentastoma**Anasa**Lygaeus**Pyrrhocoris**Reduvius**Acanthia*

第二亞目 同翅類 Homoptera

AphisProciphilus**Fulgora**Aphrophora**A. cephalotis* (leaf-cutting ant,
Cooshie ant)= *Oecodoma**B. psenes* (fig-insect)

Schnabelferje

(bugs) Wanzen

タガメ, カッパムシ (electric-light
bug, giant water-bug)コムヅムシ, フウセンムシ (water-
boatman) 水中にて鳴くマツモムシ (backswimmer) Rücken-
schwimmerタイコウチ (water-scorpion) *La-*
ecotrepes (本邦産) Wasser-scorpion

ミヅカマキリ (water-scorpion)

= *Limnobates* アメンボウ (water-
strider, water-spider, water skip-
per, skater)

} 海産

(stink-bug)

(squash-bug)

マダラカメムシ (chinch-bug)

フタホシガイタ Feuerwanze

ムシクヒクサガメ (assassin-bug,
wheel-bug)= *Cimex* = *Cinocoris* *A. lectularia* ナ
ンキンムシ, トコシラミ (bed-bug)
Bettwanze *C. lectularis* 東洋の
は *C. rotundatus*

葉 6. 83; s. 15

アブラムシ, アリマキ (plant-louse)
Blattlaus 1745 年に CHARLES
BONNET 單爲生殖を記載す

オソタムシ

有翅の雌(オソタ)は秋飛ふ二種の卵
を産む大く黄きは雌となり小に
して緑色なるは雄となる

(lantern-fly)

アヲフキムシ (spittle-insect) 葉 5.
31

* *Phylloxera*
Gossiparia
 * *Coccus*

Aspidiotus
Chermes
Leucaniun

Schlechtendalia

Flata

Icerya

Diaspis

* *Cicada*

Cicadulla
Selenocephalus
Tettigonia
Membranacea
Geisha
Ricania

第三亞目 缺翅類 Apterā

* *Pediculus*

Phthirius

Haematopinus

P. vastatrix

G. manniiparus マンナムシ

C. cacti 胭脂蟲 (cochineal-insect)
Cochinillelaus

C. pela イホタラフムシ—雑 10. 111

C. lacca シェラックムシ—雑 28.
 365

(San Jose scale) *A. perniciosus*

アナスムシ *Tammenlaus*

L. ilicis カーミンカヒガラムシ
Quercus coccifera に寄生す

S. chinensis フシムシ(五倍子)(ヌル
 テー—雑 18. 314

F. limbata 白蠟蟲ナンキンハセ(支
 那産)

ワタフキカヒガラムシ (fluted or
 cottony cushion-scale)

D. patelliformis クハノカヒガラムシ
 (scale-insect) *Schildlaus* 農科大學
 學術報告 2. 3—雑 12. 119; Proc.
 Calf. Acad. Sc. 3. 2

セミ (cicada, harvert-fly, locust 俗)
3ifabe, *Singciabe* 葉 2. 1; 6. 88
C. septendecim (seventeen-year
 cicada, periodical cicada) *On-*
cotympana ミンミン

ウンカ, ヨコバヒ (leaf-hopper)—
 雑 11. 128 號附録

ツノセミ (tree-hopper)

アヲバハゴロモ

ベツカウハゴロモ

雑 29. 83; 30. 462

シラミ (louse) *Laus*

P. capites 頭蟲 (head-louse) *Kopflaus*

P. vestimenti = *P. corporis* 衣蟲 (body-
 louse) *Meidelaus*

以上二種を合して一種となし *P.*
humanus と云ふ

Ph. pubis 毛蟲 (arab-louse) *Scham-*
laus

(獸のシラミ)

第九目 双翅類 Diptera

maggot (幼)

* *Culex** *Anopheles*
*Stegomyia**Tipula**Chironomas**Simulium** *Musca**Faunia**Calliphora** *Miastor** *Cecidomyia**Sciara**Mallophora**Psych**Pericoma**Drosophila**Dacus**Coletbra**Stratiomys**Eristalis*

ハヘ類 (flies) Zweiflügler

ウジ

カ (mosquito) Stechmücke *C. pipiens*
アカマダラカホウフリ (幼) (wriggle tail, wigg-
glers), オニホウフリ (蛹)ハマダラカ *A. sinensis*

yellow fever を媒介す

カノオバ, カガンホ (crane-fly, gal-
linipper) Schnadeユスリカ (midge) アカホウフラ (幼)
(blood-worm) 幼虫生殖をなすも
のあり

アユ (black-fly) Kreibelmücke

ハヘ (house-fly) Stubenfliege *M.*
domestica. *Empusa muscae* なる寄
生菌にて殺さる

ヒメイヘバヘ (latrine-fly)

C. erythrocephala (blue-bottle)*C. vomitoria* (blow-fly)NIC. WAGNER 1861 年に蛆中蛆を
見る Z. w. Z. 13 VON BAER 1866
年に *paedogenesis* と此生殖法を
名づく* マバヘ (Hessian fly) Heffenfliege
ob. Gallmückeギヤウレツウジマヘ (Trauermücke)
幼虫はギヤウレツウジ (行列蛆)
(army-worm, snakeworm) Heer-
wurmシホヤアブ, ムシホキアブ (robber-
fly)テフバヘ (moth-fly) Schmetterlings-
mücke

クロテフバヘ

シヤウジヤウバヘ (fruit-fly, pomace-
fly, banana-fly) Lauffliege

ミカンバヘ 雑 31. 168

Büschelmücke 幼虫に氣胞あり

ミツバヘ (soldier-fly) (ナメウジ幼)
Wasserfliegeアブ (flower-fly) ナナガウジ (rat-
tailed maggot 幼)

Bombyliusツリアブ (bee-fly) Wollschweber 幼
蟲はハチに寄生す**Haematobia***H. serrata* (horn-fly)**Hypoderma***H. lineata* (ox-warble, botfly, heelfly
蹄の少し上に産卵する故に)
“grubby hides” を起す**Oestrus***O. ovis* (sheep-botfly)**Stomoxys**サシバへ (biting house-fly, stable-
fly) Stechfliege**Tabanus**

ウマアブ (horse-fly, gad-fly) Bremse

Haemotopota**Gastrophilus***G. equi* ウマバへ, タケノコムシ(幼)
(bot-fly)**Sarcophaga**シマバへ (blowfly, fresh-fly) Fleisch-
flieg.**Scatophaga**

グソバへ (dungfly)

Sturmia= *Crissocosmia* = *Ugimya**S. sericariae*カヒコノウジバへ, カヒコノウジ
(幼), キヤウソ(蠶蛆) — 紀 1. 1**Glossina***G. palpalis* (tse-tse fly) *Trypano-*
soma gambiense はこび睡眠病を
起す**Braula**(bee-louse) Bienenlaus *B. caerca*
翅なし**Melophagus**ヒツジバへ (sheep-tick) Schafzede
*M. ovinus***Hippobosca**

シラミバへ Pferdelausfliege

第十目 隱翅類 Aphaniptera

* **Pulex**ノミ (flea) Floh *P. irritans***Ceratopsyllus***C. silantiewi*, Mongolian marmot
(*Marmota bobac*) に寄生し肺ペ
スト (pneumonia plague) の病原
菌を有することあり**Ctenocephalus**

イヌノミ, ネコノミ

Xenopsylla*X. cheopis* ネズミノミ tropical rat
flea, plague flea 黒死病菌 (*Bacil-*
lus pestis) を有することあり**Dermatophilus**= *Sarcopsylla D. penetrans* スナノミ
(jigger, chigoe, sand flea) Sandfloh

第十一目 鱗翅類 Lepidoptera

蝶蛾類 (butterflies and moths)
Schmetterlinge

- Tinea*
T. granella コクガ
T. pellionella イガ (clothes moth)
 此属の幼虫にジカキムシ, エカキムシ (leaf-miner) あり
 幼虫はシヤクトリムシ (inch-worm, measuring worm)
- Geometra*
Abraxus
Catocala
Psyche
 シヌバ (underwing)
 ミノガ (bagworm moth) *Clania minuscula* チヤミノガ, ミノムシ (幼) (bag-worm)
- Cnidocampa*
Euproctis
Phassus
Coccus
Attacus
Ocneria
C. flavescens イラガ繭 (スヰメノムシ) (幼虫永く繭中にあり)
E. flava トクガ 雑 28. 323
P. signifer キマダラカウモリガ (幼) クサギノムシ
C. vicarius ホクトウガ (木蠹蛾) 幼チナギノムシ
- **Bombyx*
A. atlas ヨナクニテフ
 マヒマヒガ, ハンノキケムシガ
 = *Lymantria O. dispar* (gypsy-moth) Schwammspinner
B. mori カヒコノガ (silk-worm moth) Seideafspinner
B. mandriana クハゴ
 ユフガホベツタウ (hawkmoth, sphinx-moth) Schwärmer
B. japonica イボタテフ, イボタノムシ (幼)
- Sphinx*
Brahmaea
Saturnia
S. pyretorum テグスガ (支那)
S. luna (= *Tropaea*) (luna-moth, pale empress of the night) BOLL 1870 年に Texas より瑞西に繭を持ち行き翌年の卵より孵化せる幼虫にのサルシを與へたるに *S. bolli* と GEMMINGER の名づけし黄色の種となり
- Antheraea*
A. yamamai ヤママユ (天蠶) 繭繭一化幼虫の腹部中央に縞線あり 雑 6. 110
A. pernyi サクサン (柞蠶) 二化繭にて越年淡褐繭—ケンチウ (繭軸) とす

- Samia*
Caligula
Rhodinia
Actias
Tortrix
 **Papilio*
Lycaena
Argynnis
Pieris
Vanessa
 **Kallima*
Hesperis
Satyrus
- S. cynthia* (= *Attacus preyeri*) シンジュサン(樟蠶)ハウルシを食す
C. japonica (= *Dictyoploca*) クスサン(樟蠶)幼虫はクリムシ、シラガタラウ繭はスカシダハラ、クリマユ種々の植物を食す
R. fugax ウスタビガ繭はウスタビ、ヤマビシヤク、ヤマカマス
A. selene オホミヅアチガ
 ハマキムシガ、ハマキムシ(幼)(leaf-roller)
 アゲハノテフ (swallow-tail)
 シロミテフ (gossamer-wings)
 ヘウモンテフ (silver-spots, fritillary)
 シロテフ (cabbage-butterfly) Weißling
 タテバ *V. antiopa* キベリタテバ (mourning-cloak butterfly)
 コノハテフ (dead-leaf butterfly)
 セハリ (skipper)
 シヤノメテフ (grayling)

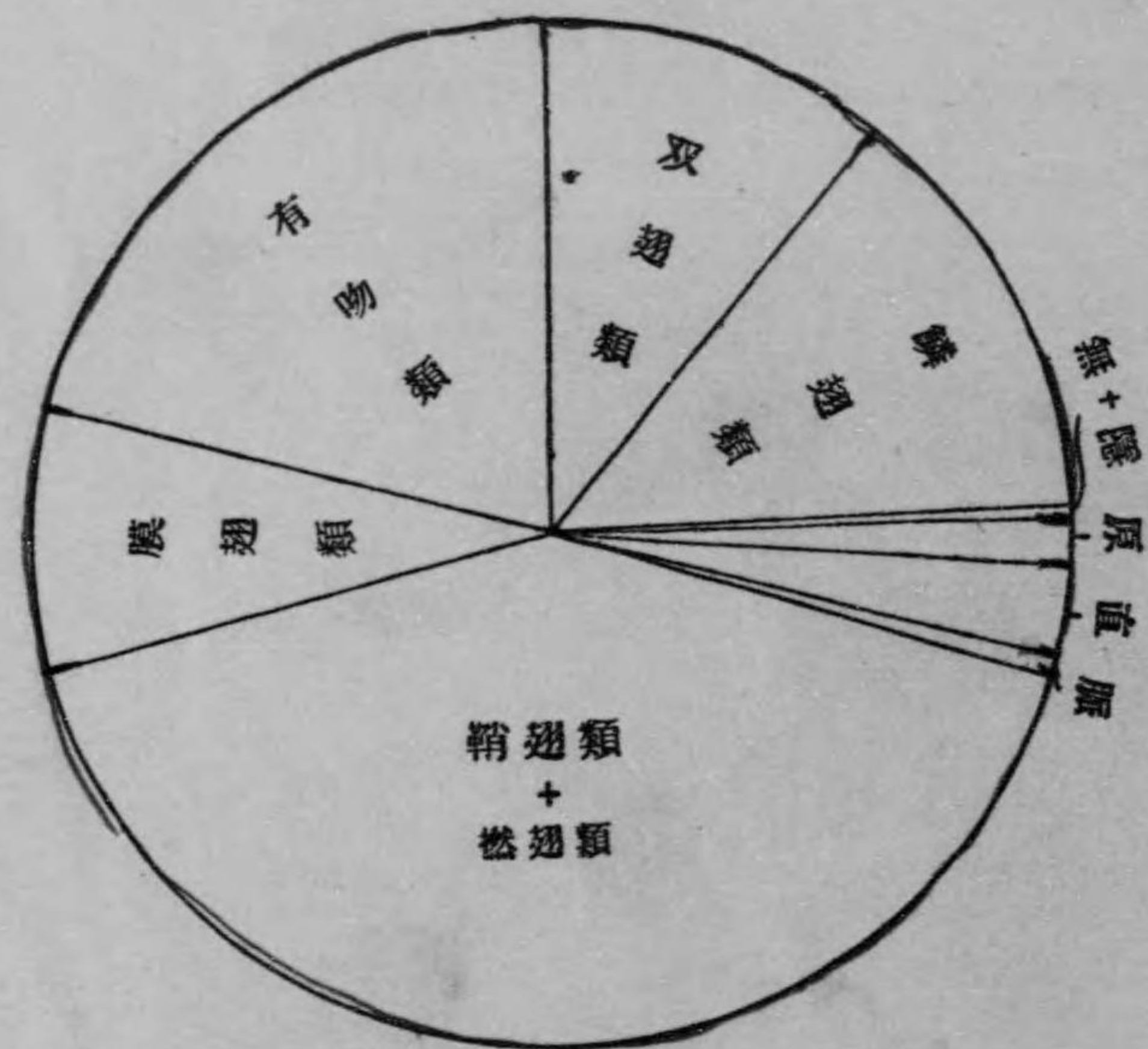


六脚蟲の現生種の概數

無翅類	880
原翅類	4,470
直翅類	10,000
脈翅類	1,500
捻翅類	150,000
鞘翅類	
膜翅類	30,000
有吻類	80,000
双翅類	40,000
隱翅類	150
鱗翅類	50,000
<hr/>	
	367,000

既知化石六脚蟲の概數

大古代	900
中古代	1,000
近古代	6,000
<hr/>	
	7,900



第五綱 ^{ヤスデ}馬陸類 DIPLOPODA
=CHILOGNATHA 唇顎類

**Julus*
Spirobolus
Polydesmus
Polyzonium
Glomeris
Polyxenus

Symphyla 結合類

**Pauropus*
Eupauropus
**Scolopendrella*
Scutigera

雑 24. 105
(millepeda)
ヤスデ

RYDER (1880 年) は多足類蠅尾類昆
蟲類の性質を結合して有する
故に *Scolopendrella* にかく名づけ
たり Z. w. Z. 59; Tufts Coll. St.
4 Q. J. 47; Journ. Linn. Soc.
32

LORD AVEBURY ロンドンにて 1866
年の秋に二種発見

GERVAIS パリにて 1836 年に発見

第十二門 毛顎動物
(CHAETOGNATHA)

**Sagitta*

Spadella
Krohnia
†*Amiskwia*

Borstentier
SLABBER 1775 年に発見して之を
arrow-worm と云へり
ヤスデ *Sagitta* *S. hexaptera* (二寸
三分) 雑 9. 52, 84, 125, 178, 225;
葉 1. 13 二列の齒二對の鱗あり
平く皮厚く二列の齒一對の鱗あり
細く一列の齒一對の鱗あり
A. sagittiformis アリナツシユコロ
ンビヤの中キヤンブリアン紀より
Smithson. Misc. Coll. 57. 5



第十三門 棘皮動物
(ECHINODERMATA)¹

- 第一綱 海林檎類 (CYSTIDEA)
- 第二綱 海蕾類 (BLASTOIDEA)
- 第三綱 海百合類 (CRINOIDEA)
- 第四綱 海膽類 (ECHINOIDEA)
- 第五綱 海盤車類 (ASTEROIDEA)
- 第六綱 蛇尾類 (OPHIUROIDEA)
- 第七綱 沙嚙類 (HOLOTHUROIDEA)

Stachelhäuter
LEUCKART 此門を腔腸動物より
1848年に分離せり

第一綱 海林檎類 CYSTIDEA
Dipleurula (幼)

雑 23. 377
Beutelstrahler, Seeäpfel
250種キヤンブリヤン紀より石炭紀

†*Echinospaerites*
Amphoridea
†*Aristoleptis*
†*Holocystites*
Edrioasteroidea

サイリユーリヤン紀に最盛
最原的のもの、ホヘミヤの下サイリユ
ーリヤン紀
米國サイリユーリヤン紀

¹ 第一綱より第三綱までを Pelmatozoa (有柄類)他の綱を Eleutherozoa (遊離類)と云ふ

†*Stromatocystis*

†*Cystastea*

第二綱 ^{ウミフボシ}海蕃類 BLASTOIDEA

†*Pentremites*

第三綱 海百合類 CRINOIDEA

**Antedon*

**Actinometra*

Pentacrinoid-
stage (幼)

Rhizocrinus

Pentacrinus

**Metacrinus*

Notocrinus

Phrynocrinus

Holopus

†*Cupressocrinus*

第四綱 ^{ウニ}海膽類 ECHINOIDEA

Echinopluteus (幼)
(=Pluteus)

第一目 正形類 Regularia

Cidaris

**Asthenosoma*

Diadema

ホヘミアのキンブリアン紀
サイリユリアン紀オハイオ州

Rnofpenstrahler

150 種サイリユリアン紀に表はれ
石炭紀に全盛にて之れにて死滅

(sea-lilies) Haarsterne

雑 7. 137; s. 81, 160, 330

= *Comatula* コマチ *A. macrodiscus*

(feather-star) 口中心にあり

口は中心より離れて存す *A. japonica*.

之を JOHN VAUGHAN THOMPSON
(軍醫 1779-1847) がアイルランド
の Cork にて Queenstown の海
にて初めて 1827 年に発見して
Pentacrinus europaeus と命名し
1835 年にコマチの幼者なるを知る
Royal Society に此発見を報
告せしも誰も信するものなく却
下されたり

1864 年 G. O. Sars 発見

ウミユリ, トリノアシ *M. rotundus*

N. virilis 胎生雑 24. 414

雑 25. 202; 葉 8. 221

H. rangi—雑 24. 421

1857 年発見現生有柄 海百合類中最
も古く発見記載せられしもの

テホーニヤン紀

(sea-urchins) Seeigel

雑 10. 1, 78, 145, 247, 323, 439; 12.
379; 13. 172; 葉 2. 57, s. 543
(發生)

Meerturban *C. biserialis* 棘に枝あ
るもの *C. baculosa* 棘に横紋ある
もの

雑 9. 227; 葉 1. 5 *A. longispinum*
A. ijimai

D. setosum ガンガセ

Heterocentrotus
Arbacia
Colobocentrotus
Echinus
Mespilia
Sphaerechinus
Toxopneustes
 **Strongylocentrotus*

ハチゲヤウウニ *H. mammilatus*
C. martensii
 コシゲカウニ *M. levitaterculatus*
 マフンウニ *S. purcherrimus*
 ラツバウニ *T. pileolus*
 ムラサキウニ *S. purpureus*
 アカウニ, ヒラウニ *S. depressus*
 (= *Pseudocentrotus*)

第二目 ^ワ歪形類 Irregularia
Echinocyamus
 **Clypeaster*
Laganum
Echinarachnius
Mellita
Encope
Astriclypeus
Schizaster
Brissus
 **Spatangus*
Echinocardium
Pcultaesia

マメウニ
 タコノマクラ, マンゲユウ *C. japonica* Schilbigel
 クロシバン *L. decagonalis*
 ハスノハガヒ *E. mirabilis*
 (sand-dollar, cake-urchin)
 サノマクラ *A. manni* 五孔あり
 アンブクチャガマ (heart-urchin)
B. agassizi (三崎産)
P. laguncula

第五綱 ^{ヒトデ}海盤車類 ASTEROIDEA
 Bipinnaria (幼)
 Brachiolaria (幼)

(star-fishes) See Sterne 紀 29. 1 雑 27. 87

第一目 顯帶類 Phanerozonia
 **Astropecten*
Asterina
Luidia
Culcita

モミゲガヒ *A. scoparius* 肛門も又線もなし六のホーリー胞あり
 イトマキヒトテ *A. pectinifera*
L. maculata

第二目 隱帶類 Cryptozonia
Nardoa
Linkia

アカヒトテ *N. semiregularis*

- Solaster*
**Asterias*
- Cribrella*
Brisinga
- 第六綱 蛇尾類 OPHIUROIDEA
- Ophiopluteus (幼)
= pluteus
- = painter's easel-larva
- 第一目 クモヒトデ類 Ophiurida
- **Ophioplocus*
- Ophiorachnella*
- Ophilina*
- Ophiothela*
- Amphiura*
- Amphipholis*
- Ophiactes*
- Astrophiura*
- 第二目 テヅルモヅル類 Euryalæ
- Astrophyton*
- 第七綱 ^{ナマコ}沙嚙類¹ HOLOTHUROIDEA
- Auricularia (幼)
- Doliolaria (幼)
- = barrel-shaped larva
- = pupa
- ヒトデ *A. calamarina*, ヤツテ
A. rollestoni
- (brittle-stars) Schlangensterne
雑 24. 363, 377; 25. 114, 521
- 1845年に JOHANNES MÜLLER が
Ophiura の幼形を見 *Pluteus paradoxus* と命名せり
- Proceed. Acad. Nat. Sc. Phil.* 1915
p. 43 雑 27. 351, 441, 481, 531,
569, 617
- クモヒトデ *O. japonicus* 腕の一節
に三對の棘あり
- O. gorgonia* 腕の一節に數對の棘あり
- イソバナに附着す
- 胎生 *A. squamata* 雌雄同體 (protandric)
- O. vireus* 裂生
葉 8. 225
- (= *Gorgonocephalus*) テヅルモヅル *A. pardalis* (basket-fish) — 雑 23. 617;
24. 198, 379
- (sea-cucumbers)
Seeewalzen, Seegurken
雑 21. 222, 713; 葉 7. 349
分々 — 雑 21. 518, 24. 89
本邦産 — 雑 8. 405; 22. 18, 168; 23.
182; 紀 29. 2; 葉 1. 133; 8. 53;
雑 23. 26 (子守り) 28, 55; 30.
177

1 喫の音ソク噴くなり

第一目 輻管足類 Actinopoda

=Pedata 有足類

Holothuria*オキナマコ, フゲナマコ (皮膚の皮に類する故) カクレウナを有することあり *H. monacaria*Stichopus*ナマコ *S. japonicus* 卵巣を乾したるなクチコ*Enypniastes*

ユメナマコ—雑 18. 第一版

Ilyodaemon

葉 1. 133

Pelagothuria

クラゲナマコ

*Molpadia**Caudina**Cucumaria*=*Pentacta* キンコ *C. japonica* (金華山の金精化して此ナマコとなると信ぜらるる故にこの名あり)—雑 24. 319 *C. echinata* フミ 葉 9. 377*Thyone**Colochilus***Psolus*

ガイガセナマコ—雑 10. 168; 25. 104, 130

**Rhopalodina*

第二目 側輻管足類 Paractinopoda

=Apoda 無足類

**Synapta*

雑 25. 253; 26. 34; 葉 8. 467

S. similis 熱帯の半鹹水に住む棘皮動物にて半鹹水に住むはこの種のみ*Leptosynapta* (三崎産)*Chiridota**Polycheira*

第十四門 前肛動物

(PROSOPYGII)

原口類 (Protostomia) に属す
LANG の命名による

第一綱 星蟲類 (SIPUNCULOIDEA)

第二綱 外肛類 (ECTOPROCTA)

第三綱 腕足類 (BRACHIOPODA)

第四綱 蕃蟲類 (PHORONIDEA)

第五綱 翼鰓類 (PTEROBRANCHIA)

第一綱 星蟲類 SIPUNCULOIDEA
=GEPHYREA INERMIA
=GEPHYREA ACHLETA

ホシムシ類
Sternwürmer
雑 17. 325; 19. 9, 115; 紀 20. 4
Gephyrea とは橋即ちナマコと蠕蟲
の間の橋の義

**Sipunculus*

Phimosoma

環筋束をなす *S. nudus*; *S. cumanensis*
皮面ざらざらにて筋束をなす *P.*
japonica

**Phascolosoma*

Aspidosiphon

皮増にして筋束をなす *P. japo-*
nicum; *P. nigrum*

Priapulus

Halicryptus

Z. w. Z. 11, 42.

第二綱 外肛類 ECTOPROCTA

=BRYOZOA 苔蟲類

=POLYZOA

コケムシ類
Moostierchen
Bryozoa はドイツにて EHRENBURG
のつけし名 (1831) Polyzoa はイ
ギリスにて J. V. THOMPSON の
つけし名なり (1830) 雑 29. 233,
277, 364, 393; 葉 9. 407

第一目 裸唇類 Gymnolaemata

=Stelmatopoda 帶足類

**Bugula*

Flustra

Retepora

Lichenopora

Schizoporella

Alcyonidium

Microporella

**Membranipora*

Cyphonautes (幼)

B. neritina (三崎産)

アミカビ (sea-mat)

トサカガヒ

サンゴに類す

チゴケ *S. oenochros.*

M. ciliata ヲスゴケ

- Paludicella*
 第二目 被唇類 Phylactolaemata
 Lophopoda 冠足類
 "Statoblast"
 **Plumatella*
Cristatella
 **Pectinatella*
Hyalinella
Stephanella
Lophopus
Acyonella
- 第三綱 腕足類 BRACHIOPODA
 第一目 有鉸類^{カウ} Testicardines
 **Magellania*
Terebratula
Terebratulina
Terebratella
Laqueus
Argiope
Cistella
 **Rhynchonella*
 †*Spirifer*
- 第二目 無鉸類 Ecardines
Crania
Discinisca
 Müller's larva (幼)
 **Lingula*
Glottidia
- 第四綱 帚蟲類^{ハウキムシ} PHORONIDEA
 **Phoronis*
- 淡水産一雜 24. 591
- 紀 4. (*P. gelatinosa*); 雜 18. 307
 23. 588; 葉 6. 117
- 葉 6. 277
- Armfüßer
 1848 年に STEENSTRUP 初めて軟體
 動物に非ざるを知る
 雜 7. 223, 本邦産 25. 500 (發生)
 ホ、ズキガヒ (lamp-shell)
 = *Waldheimea*
- T. coreanica*, *T. blanfordi*
L. rubellus
- キヤンブリヤン紀より (?) 二對の腎
 管あり
 石燕 サイリユールヤン紀よりジュ
 ラシツク紀
- キヤンブリヤン紀より
 = *Discina* キヤンブリヤン紀より
 FRITZ MÜLLER 發見
 メグロシヤ(女冠者)シヤミセンガヒ
L. anatina 雜 13. 195; 葉 4.61
 紀 17. 4,5 サイユールヤン紀より
- ハウキムシ *P. ijimai*, *P. australis* 紫
 色にして *Cerianthus* の粘液中に

Actinotrocha (幼)

第五綱 翼鰓類 PTEROBRANCHIA

* *Cephalodiscus** *Rhabdopleura*

住む; *P. ovalis* 最初発見された
るものにて裂生し綱殻を穿ちて
Clione と住む雑 29. 245 1856 年
に STRETHILL WRIGHT (エザンバ
ラの人) 発見しかく名づけたり一
雑 13. 316; 葉 1. 147; 4. 115, 141

1846 年 JOHANNES MÜLLER 発見
A. branchiata と名づく SCHNEI-
DER は 1862 年に星蟲の幼蟲と思
ふ。KOWALEVSKY 1867 年にハウ
キムシの幼蟲なるを知る一雑 10.
385; 紀 13. 4

雑 22. 320 31. 201; Zool. Jahrb.
23 24.25 (Anat), 28 (Syst.) Zool.
Cent. 14

1876 年に Challenger 號マシエラン
海峡に発見 1887 年に HARMER
初めて其眞の性質を知る十四種
あり Challenger Report 20 雑 25.
110; Q. J. 26 (發生)

1866 年に G. O. SARS 発見 *Hali-*
lophus mirabilis と命名苔蟲と思ふ
一種なり Q. J. 9, 24 Ann. Mag.
16 No. 94

第十五門 原索動物 (PROCHORDATA)

第一綱 擬索類 (ADELOCHORDA)

第二綱 尾索類 (UROCHORDA)

第三綱 頭索類 (CEPHALOCORDA)

第一綱 擬索類 ADELOCHORDA

=ENTEROPNEUSTA 腸鰓類

=HEMICHORDA 半索類

Tornaria (幼)

**Balanoglossus*

Ptychodera

Schizocardium

Glandiceps

Protobalanus

Glossobalanus

Dolichoglossus

**Harrimania*

第二綱 尾索類 UROCHORDA

=TUNICATA 被囊類

“Tadpole” (幼)

第一目 ホヤ類 Ascidiacea

第一亞目 單ホヤ類 Ascidia simplices

=Monascidia

**Ascidia*

Phallusia

**Styela*

此門以上は脊索動物 (Chordata) と云ふ、HAECKEL の 1874 年に Chordonia なる門を造りしより始まる

Eschlundatmer

1849 年に JOHANNES MÜLLER 発見しヒトアの幼形と思ふ、1869 年に METSCHNIKOFF キボシムシの幼蟲なるを知る一雜 25. 609

キボシムシ Cichelwurm 葉 4. 77, 雜 14. 34 *B. misakiensis*

G. hacksi 葉 6. 255

Manteltiere

1848 年に MILNE EDWARDS は Molluscoidea に入る 1866 年に KOWALEVSKY の發生の確定より獨立の位置たるを知れり

1821 年に発見

Seefische

(sea-squirts) 葉 6. 37; 8. 443; Arch. Nat. Gesch. 60. 1

シロホヤ *S. plicata*.

クロホヤ (*S. kuroboja*), エホヤ *S. clava* (朝鮮にて食用に供す)

* *Cione*
 * *Cynthia*
Halocynthia

Molgula
Corella
Boltenia
Dicopia
Hexacrobylus
Agnesia
Megalodicopia

第二亞目 複ボヤ類 *Ascidia composita*
 = *Synascidia*

* *Botryllus*
 * *Clavelina*
Polyclinum
 * *Perophora*

Distaplia
Didemnum
Diplosoma
Fragerooides
Amaroecium
Sarcodidemnoides
Cyathocormus
Aphanibranchion

第三亞目 光ボヤ類 *Ascidiae luciae*
 = *Ascidiae salpiformes* サルバ状ボヤ類
 = *Pyrosomata* ピロゾマ類
 = *Lucidia* 發光類

* *Pyrosoma*

第二目 サルバ類 *Thaliacea*

第一亞目 環筋類 *Cyclomyaria*
 = *Doliolida* タルボヤ類

* *Doliolum*

= *Ascidia*

ホヤ(火屋の義) *H. roretzi*, カラスホヤ
H. karasboja 雜 2. 482 タコホヤ
H. mirabilis

} 雜 25. 112; Z. A. 43 1

彙 9. 1
 彙 9. 399

コモンボヤ

1843 年に LISTER 血流の方向を時
 時變するを見る

D. mitsukunii 雜 4. 144.

アカナス

= *Amaroecium*

アカヤアサ *S. misakiense* 雜 4. 8

紀 32. 12; Z. A. 40

彙 5. 253

ヒカリボヤ *Feuerwalze* od. *Feuerzapfe*

サルバを元は *Thalia* と云ひたり

タルボヤ *D. tritonis* 雜 10. 288
 11. 279

Anchinia
Dolchinia

第二亞目 半筋類 Hemimyaria

- =Salpida サルパ類
- =Desmomyaria 紐筋類

**Salpa*

Cyclosalpa

Octacnemus

第三目 幼形類 Larvacea

- =Copelata 橈類
- =Appendiculata 有尾類
- =Perennichordata

**Appendicularia*

**Oikopleura*

Stegosoma

Fritillaria

Kowalevskia

第三綱 頭索類 CEPHALOCHORDA

- =LEPTOCARDIA 狭心類
- =ACRANIA 無頭類

**Branchiostoma*

(1834)

Asymmetron

葉 6. 1; 現代の科學 1. 5, 6; 漁業
基本調査準備報告 67; U.S. Nat.
Mus. Bull. 100

サルパ 1819 年に CHAMISSO "de
Salpa" を著す 1824 年に VAN
HASSELT 血流の方向を時々變ず
るを見る

O. bythius. Trans. Linn. Soc. (2) 1,
Challenger Report 27
O. patagoniensis. Johns Hopkins
Univ. Circ. 12

CHAMISSO 発見幼蟲として此名を附
す HUXLEY 精子を見て幼蟲なら
ざるを知る一紀 23. 5

サイヅナホヤ

尾短く内錐二列の細胞よりなる(他
の屬にては四列)

内錐心臓なし

Eschällofe

=*Amphioxus* (1836) (lancelet)

ナメクサウチ Lanzettiſch 1774 年に
PALLAS 発見 *Limax lanceolatus* と
名づく我邦産 *B. belcheri* 雜 7.
132; 7. (歐) 102; 葉 1. 125

Johns Hopkins Studies 5
A. lucayanum

第十六門 脊椎動物又は有頭動物
(VERTEBRATA or CRANIATA)

無羊膜類 Anamnia

第一綱 圓口類 (CYCLOSTOMATA)

第二綱 魚類 (PISCES)

第三綱 兩棲類 (AMPHIBIA)

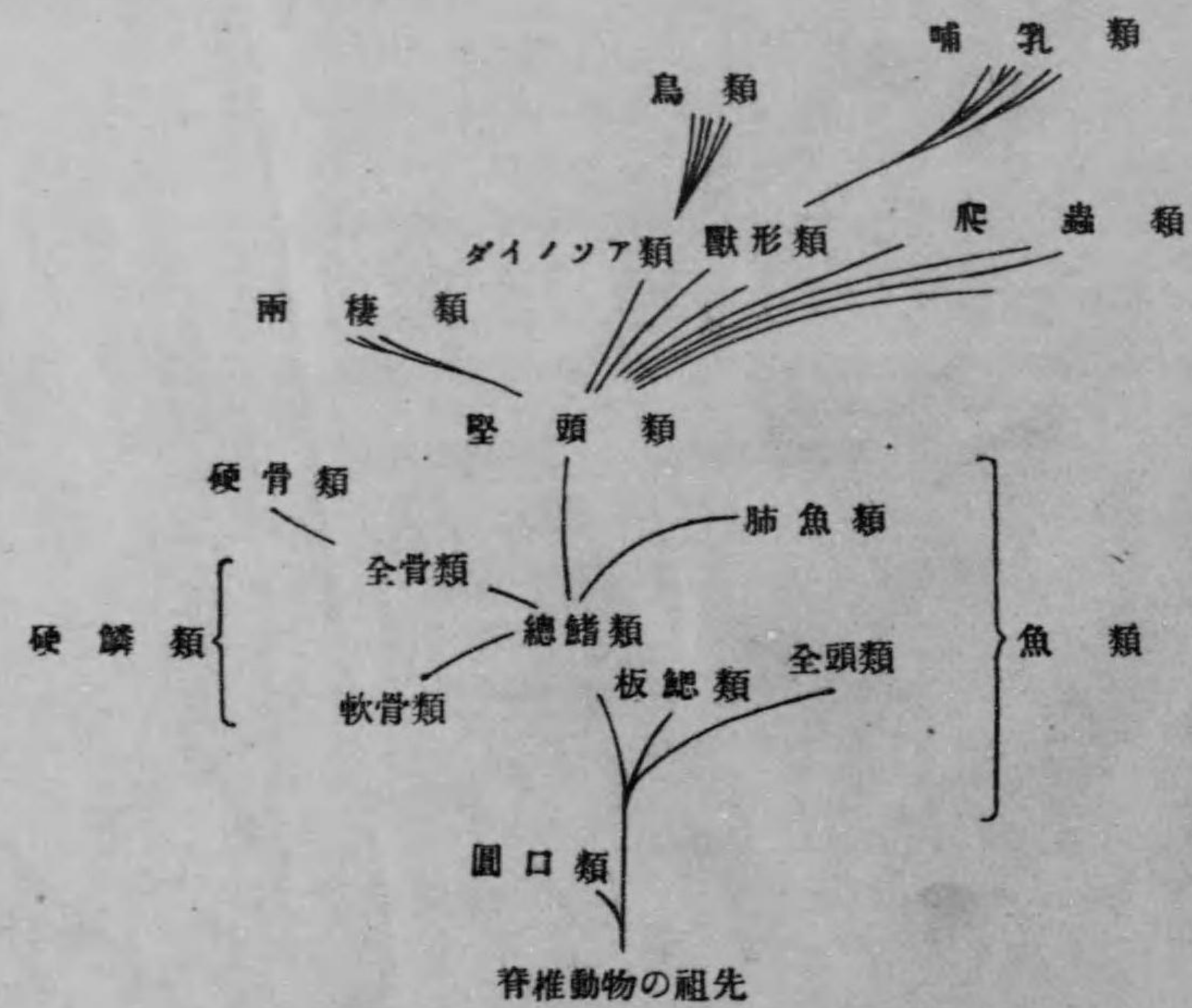
有羊膜類 Amniota

第四綱 爬蟲類 (REPTILIA)

第五綱 鳥類 (AVES)

第六綱 哺乳類 (MAMMALIA)

Wirbeltiere 雜 31. 59 (参考書)
脊椎動物なる名は LAMARCK の
1794 年に animaux à vertèbres
に始まる



第一綱 圓口類 CYCLOSTOMATA

=MARSIPOBRANCHI 囊鰓類

=MONORHINA 單鼻類

=AGNATHA 無顎類

第一目 完口蓋類 Hyperoartia

Ammocoetes (幼)

PetromyzonLampetra**Mordacia**Geotria*

Macrophthalmia (幼)

第二目 穿口蓋類 Hyperotreta

MyxineParamyxine***Bdellostoma*†*Palaeospondylus*

Rundmäuler

紀 33. 1; 葉 3. 31

雜 12. 157; 23. 580; 25. 551, 596
葉 4. 21; 7. 263Querder スナヤツメの幼魚を別種として *A. branchialis* と命名されしが 1856 年に AUGUST MÜLLER スナヤツメの卵より此魚を得たり= *Entosphenus* ヤツメウナギ *P. japonicus* (lamprey) Neunauge, Bride od. Lampreteスナヤツメ *L. planeri* Bachneunauge, Sandbride

(hags or hagfishes)

メクラウナギ *M. yarmani* Zugerクロメクラウナギ *P. atami*—紀 19. 2= *Homea* = *Heptatrema* = *Eptatretus*
メクラウナギ, マヌウナギ *E. burgeri* ムラサキメクラウナギ *E. okinoseanus**P. gunni* スコツトランドのデホーニヤン紀

第二綱 魚類 PISCES

第一目 板鰓類 Elasmobranchii

=Plagiostoma 横口類

第一亞目 クラドセラケ類 Cladoselachii

=Pleuropterygii 側鰭類

*†*Cladoselache*

第二亞目 アカンソーデース類

Acanthodii

*†*Acanthodes*

第三亞目 プリーラカンサス類

Pleuracantha

=Ichthyotomi

*†*Pleuracanthus*

第四亞目 鮫類 Selachii

第一類 アブラザメ類 Notidani

Heptanchias*Hexanchus***Calamydoselachus*

第二類 サメ類 Squali

CestracionScyllium**Carcharodon**Carcharinus**Lamna**Rhinodon**Cetorhinus*

(fishes) 魚類

此綱以上の脊椎動物を有頭動物
(Gnathostomata) と總稱す
紀 33. 1(sharks and rays) 鮫やウロコ魚
類 26. 482

上デボン紀或は下石炭紀

上サイリユール紀よりパーミ
ヤン紀

石炭紀よりパーミヤン紀

卵殻をサメノカケマモリ(mermaid's
purse) と云ふ=*Heptanchus*=*Notidanus* アブラザ
メ鰓孔七對カケラザメ (cow-shark, griset)
Grauhai 二丈六尺脊鰭一鰓孔六對
ラアカ *C. anguineus* (frill shark) 鰓
孔六對=*Heterodontus* ネコザメ, サハエワ
リ (Port Jackson shark)
(dog-fish)ヒトクヒザメ (man-eater) 四丈に達
す *C. carcharias* (white shark,
great blue shark) 齒より見れば
イオシオン期マイナシオン期に
は八丈のものありしなるべし*C. gangeticus*
C. nicaraguensis } 淡水に産するサメ
は此二種なり(porbaegle)
(whale-shark) 七丈に達す齒小く數
多し=*Selache* ヲバザメ (basking shark,
bone-shark) 四丈に達す